



# はじめに

このたびは、東芝パーソナルコンピュータ EQUIUM<sup>エクイウム</sup>シリーズをお買いあげいただきまことにありがとうございます。

本装置は EQUIUM シリーズのミニタワー型ネットワークコンピュータです。  
本書は EQUIUM シリーズの取り扱い、注意事項などについてまとめた取扱説明書です。

ご使用にあたっては、本書をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、一読されたあとも大切に保管し、必要なときにはすぐに取り出せるようにしてください。

なお、本書は Windows 98 モデル / Windows 95 モデルおよび Windows NT モデル共通です。ご使用のモデルに対応した部分をお読みください。

## ● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

## ● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## ● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ● 高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

## ● レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品



・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

お願い

## ● 製品寿命について

- ・本製品の内蔵バッテリーの寿命は約3年です。

## ● お願い

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

本製品でサポートしているシステム（OS）は、次のとおりです。

- ・ Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版

上記以外は動作の保証を行っておりません。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、東芝PCダイヤル（別冊の『東芝PCサービス&サポートのご案内』参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

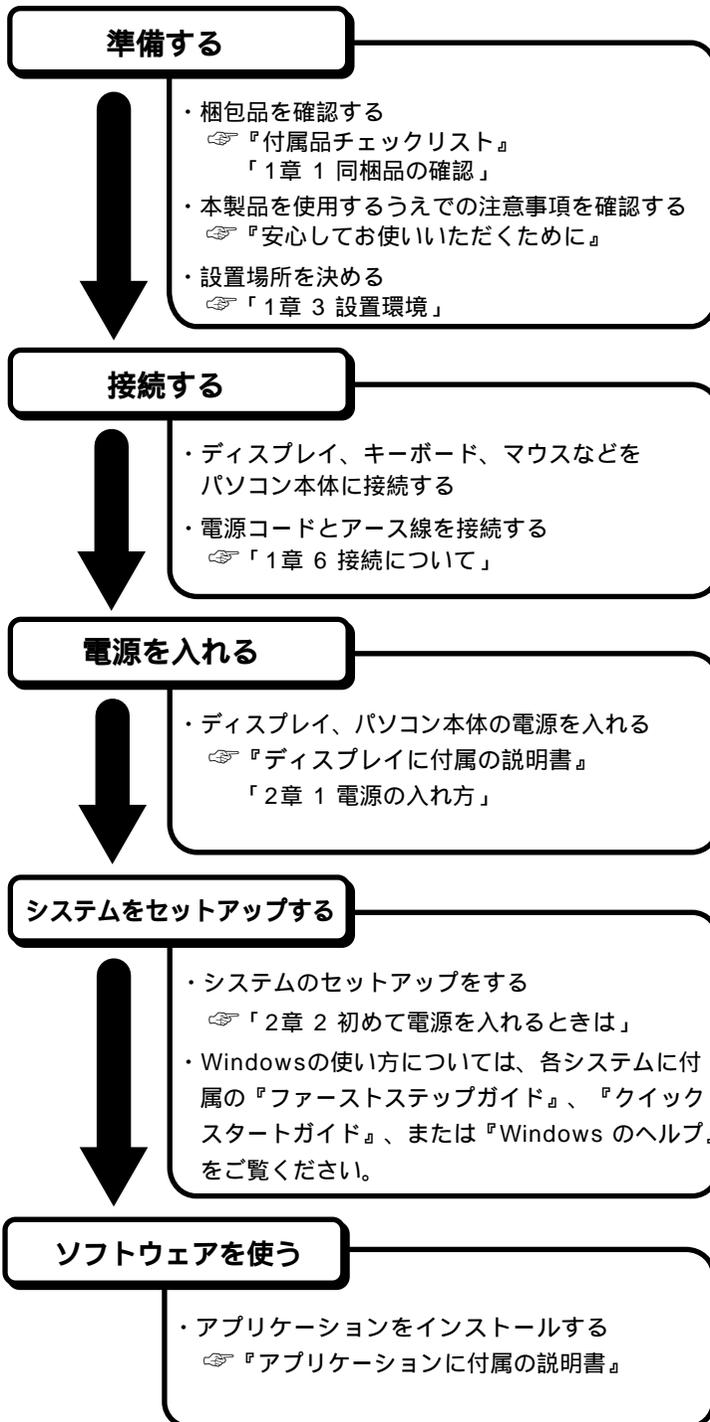
## ● Trademarks

- ・ Intel、Pentium、LANDeskはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- ・ VGA、AT、EGA、PS/2はIBM Corporationの商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Fast Ethernet、Ethernetは富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ Sound Blasterは米国Creative Technologies社の商標です。
- ・ RIVA TNT2はnVIDIA社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。



# 作業の進め方





# 本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的に合わせて必要なところからお読みください。

1章 電源を入れる前に (13ページ)	本装置をお使いいただく前に知っておいてほしいこと、注意などについてまとめています。
2章 電源の入れ方と切り方 (43ページ)	電源の入れ方・切り方、省電力機能について説明しています。
3章 システム機能の説明 (75ページ)	Windowsを操作するうえで、知っておくと便利な機能とその設定方法について説明しています。
4章 機器の拡張について (85ページ)	オプションを取り付ける場合のご注意と取り付け方法について説明しています。
5章 BIOSセットアップについて (137ページ)	ハードウェアセットアップの方法について説明しています。
6章 カスタム・リカバリCD /リカバリCDの使い方 (163ページ)	システムが動かなくなったときの対処方法について説明しています。
7章 困ったときは (173ページ)	「電源が入らない……」などの困ったときの対処方法について説明しています。
付録 (183ページ)	本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

## ● 参照マニュアル

- ・本装置で使用するオペレーティングシステム（OS）の説明については、各システムに付属の説明書をご覧ください。
- ・Intel LANDesk Client Managerの説明については、次のファイルをご覧ください。

Windows 98 / 95 モデル Intel LANDesk Client Manager CD-ROM 内の  
「¥readme.doc」

Windows NT モデル アプリケーション CD-ROM 内の ¥Softwares¥Ldcm に  
ある「readme.doc」



# 本書の読み方

## ● 記号の意味



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。



お願い

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。



参照先を示しています。

本書内の参照先は「          」で示し、他のマニュアルの参照先は『          』で示しています。

(注) 補足説明をしています。

## ● 画面の表示方

画面の全部、または一部を表示します。

【例】

Total = XXXX KB

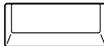
このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## ● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを で囲んで示しています。

**Y** キーを押す .....  を押してください。

**1** キーを押す .....  を押してください。

**Space** キーを押す .....  を押してください。

## ● 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

**Y** キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押す

**Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押します。

## ● 用語について

本書では、次の用語について定義します。

- システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。
- Windows 98 ..... Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。
- Windows 95 ..... Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を示します。
- Windows NT ..... Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版を示します。
- Windows ..... Windows 98、Windows 95、Windows NT を示します。
- MS-IME ..... Microsoft® IME98 または、Microsoft® IME97 を示します。
- PCI LAN インタフェース ..... 特に説明がない場合は、メインボード上に実装されている 10BASE-T および 100BASE-TX 対応の LAN インタフェースを示します。
- アプリケーションまたは  
アプリケーションソフト ..... アプリケーションソフトウェアを示します。



# 機能と特長

## ● ネットワークに対応

- ・ Ethernet LAN、Fast Ethernet LAN に対応した、ネットワークチップを実装

## ● 高解像度表示が可能

- ・ nVIDIA 社の RIVA TNT2 グラフィックチップを搭載した Canopus 社製 AGP バス対応グラフィックカードを実装
- ・ 標準 VGA (640 × 480) の他に SVGA 仕様もサポート
- ・ VRAM は標準で SDRAM16 MB
- ・ 3D 機能をサポート

## ● すぐれたシステム性能

- ・ システムメモリに ECC 対応の SDRAM を標準装備 (64 - 768MB)
- ・ DIMM コネクタを 3 つ持ち、最大 768 (256 × 3) MB まで増設可能 (標準メモリが 64MB 搭載のモデルの場合、標準メモリも交換することによって、最大 768 MB まで増設可能)
- ・ 256kB のセカンドキャッシュを標準装備
- ・ Intel LANDesk Client Manager (LDCM) によりハードウェアの障害監視やソフトウェアのリソース管理をサポート (Windows 98 / 95 / Windows NT 対応)
  - ☞ Windows 98 / 95 モデルのインストール方法
    - ☞ 『Intel LANDesk Client Manager』 CD-ROM 内の「¥readme.doc」
  - ☞ Windows NT モデルのインストール方法
    - ☞ 『アプリケーション CD』 CD-ROM 内の ¥Softwares¥Ldcm にある「readme.doc」

## ● 3 モード FDD

- ・ 720kB、1.2MB、1.44MB フォーマットされた 3.5 型フロッピーディスクを使用可能。ただし、Windows 98 / 95 環境下では 1.2MB のフォーマットはできません。

## ● マルチメディアに対応

- ・ Pentium プロセッサを搭載し、ストリーミング SIMD 拡張命令をサポート (Windows 95 ではサポートしません)
- ・ 40 倍速 (最大) CD-ROM 装置を標準で内蔵
- ・ サウンド機能を標準で装備 (Sound Blaster Pro 互換)

## ● 高い拡張性

- ・ ISA/PCI スロットを 1 つ装備
- ・ PCI スロットを 4 つ装備 (内 1 つは、サウンドカードで使用)
- ・ AGP スロットを 1 つ装備 (AGP バス対応の表示カードで使用)
- ・ ファイルスロットを 4 つ装備 (内 1 つは、CD-ROM 装置で使用)
- ・ 3.5 型ドライブキャリアを 3 つ装備 (内 2 つはフロッピーディスク装置とハードディスク装置で使用)

## ● 使いやすさ

- ・ Windows 98、Windows 95、Windows NT Workstation 4.0 日本語版のいずれかをインストール済み
- ・ 洗練されたデザインとイージーメンテナンスを実現



# 目次

はじめに .....	1
作業の進め方 .....	3
本書の構成 .....	4
本書の読み方 .....	5
機能と特長 .....	7
目次 .....	8
<b>1 章 電源を入れる前に .....</b>	<b>13</b>
<b>1 同梱品の確認 .....</b>	<b>14</b>
<b>2 各部の名称と機能 .....</b>	<b>16</b>
1 本体正面 .....	16
2 本体背面 .....	18
3 マウス .....	20
4 キーボード .....	22
<b>3 設置環境 .....</b>	<b>24</b>
1 設置場所について .....	24
2 電源について .....	24
3 健康のために .....	24
<b>4 取り扱いについて .....</b>	<b>26</b>
1 電源コードについて .....	26
2 ハードディスク装置について .....	26
3 CD-ROM 装置について .....	26
4 フロッピーディスク装置について .....	29
<b>5 使用上のお願い .....</b>	<b>32</b>
1 連続運転について .....	32
2 日常のお手入れと保管・運搬 .....	32
3 消耗品 .....	34
4 妨害電波・電圧について .....	34
5 修理・サービスについて .....	34
6 廃棄について .....	34
<b>6 接続について .....</b>	<b>35</b>
1 接続完成図 .....	35
2 接続の順番 .....	36
3 ディスプレイ（別売り）の接続 .....	37
4 キーボードの接続 .....	41
5 マウスの接続 .....	41
6 電源コードの接続 .....	42

<b>2 章</b>	<b>電源の入れ方と切り方</b> .....	43
<b>1</b>	電源の入れ方 .....	44
<b>2</b>	初めて電源を入れるときは .....	45
1	Windows 98 のセットアップ .....	46
2	Windows 95 のセットアップ .....	53
3	Windows NT のセットアップ .....	59
4	ユーザ登録をする .....	68
<b>3</b>	電源の切り方 .....	69
1	Windows 98 / 95 の電源の切り方 .....	69
2	Windows NT の電源の切り方 .....	70
<b>4</b>	省電力機能について .....	72
1	省電力機能について .....	72
2	省電力モードについて .....	72
3	省電力機能を作動させるには .....	73
<b>3 章</b>	<b>システム機能の説明</b> .....	75
<b>1</b>	日本語入力システム MS-IME について .....	76
1	MS-IME ツールバーの表示 .....	76
2	入力文字種の選択 .....	76
3	MS-IME ツールバーの使用方法 .....	77
<b>2</b>	インジケータ領域について .....	78
1	日本語入力インジケータ .....	78
2	SB Audio PCI 128 ミキサー .....	78
3	日付と時刻の設定 .....	78
4	画面インジケータ (Windows 98 / 95 モデル) .....	78
<b>3</b>	ディスプレイ解像度の変更 .....	79
<b>4</b>	ドライバのインストールについて .....	82
<b>4 章</b>	<b>機器の拡張について</b> .....	85
<b>1</b>	作業を始める前に .....	86
<b>2</b>	LAN の接続 .....	88
1	適正なケーブルの確認 .....	88
2	LAN ケーブルの接続 .....	88
3	テクニカル情報 .....	89
4	Windows 98 / 95 のネットワーク設定について .....	91
5	Windows NT のネットワーク設定について .....	94

<b>3</b>	プリンタの接続 .....	96
	1 プリンタの接続 .....	96
	2 プリンタ設定について .....	97
<b>4</b>	マイク（別売り）の接続 .....	100
<b>5</b>	スピーカ（別売り）の接続 .....	101
<b>6</b>	カバーの取りはずし、取り付け .....	102
	1 カバーの取りはずし .....	102
	2 カバーを取りはずしたところ（横面から）.....	104
	3 カバーの取り付け .....	105
<b>7</b>	オプションカード .....	107
	1 拡張スロットの位置 .....	107
	2 オプションカードの取り付け .....	109
	3 オプションカードの取りはずし .....	110
<b>8</b>	増設ハードディスク装置 .....	111
	1 IDE インタフェースについて .....	111
	2 増設ハードディスク装置のジャンパについて .....	112
	3 増設ハードディスク装置の取り付け / 取りはずし .....	113
	4 増設ハードディスク装置の設定 .....	115
<b>9</b>	増設 5 型装置 .....	122
	1 増設 5 型装置の取り付け .....	122
	2 増設 5 型装置の取りはずし .....	124
<b>10</b>	増設 3.5 型装置 .....	125
	1 増設 3.5 型装置の取り付け .....	125
	2 増設 3.5 型装置の取りはずし .....	127
<b>11</b>	増設メモリカード .....	128
	1 増設メモリカードの取り付け .....	129
	2 増設メモリカードの取りはずし .....	131
<b>12</b>	内蔵バッテリーの交換 .....	132
<b>13</b>	内部ケーブルの接続 .....	134
	1 メインボードのコネクタ接続位置 .....	134
	2 コネクタへの接続 .....	134
	3 装置への接続 .....	136

<b>5章</b>	<b>BIOS セットアップについて</b> .....	<b>137</b>
<b>1</b>	<b>BIOS セットアップとは</b> .....	<b>138</b>
	1 BIOS セットアップの起動方法 .....	138
	2 BIOS セットアップの操作方法 .....	139
	3 BIOS セットアップの内容 .....	141
<b>2</b>	<b>Main メニューの詳細</b> .....	<b>142</b>
<b>3</b>	<b>Advanced メニューの詳細</b> .....	<b>144</b>
<b>4</b>	<b>Security メニューの詳細</b> .....	<b>151</b>
<b>5</b>	<b>Power メニューの詳細</b> .....	<b>153</b>
<b>6</b>	<b>Boot メニューの詳細</b> .....	<b>155</b>
<b>7</b>	<b>Exit メニューの詳細</b> .....	<b>157</b>
<b>8</b>	<b>工場出荷時の設定値</b> .....	<b>159</b>
<b>6章</b>	<b>カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方</b> ....	<b>163</b>
<b>1</b>	<b>カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは</b> .....	<b>164</b>
	1 カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 / 95) .....	164
	2 リカバリ CD とは (Windows NT) .....	164
<b>2</b>	<b>標準システムを復元する</b> .....	<b>165</b>
	1 準備 .....	165
	2 操作手順 .....	165
<b>3</b>	<b>最小構成でシステムを復元する (Windows 98 / 95) .....</b>	<b>169</b>
	1 準備 .....	169
	2 操作手順 .....	169
<b>4</b>	<b>アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95) .....</b>	<b>171</b>
	1 操作手順 .....	171
<b>7章</b>	<b>困ったときは</b> .....	<b>173</b>
<b>1</b>	<b>困ったときの Q &amp; A</b> .....	<b>174</b>

付録 .....	183
<b>1</b> 製品仕様 .....	184
1 仕様概要 .....	184
2 外形寸法図 .....	186
3 メモリマップ .....	187
4 I/O マップ .....	188
5 割り込みレベル・DMA チャンネル .....	190
6 ジャンパ・スイッチの設定 .....	191
<b>2</b> 各インタフェース .....	192
1 アナログ RGB インタフェース .....	192
2 アナログ RGB インタフェースの同期信号 .....	192
3 デジタル RGB インタフェース .....	193
4 シリアルインタフェース (COM1)(COM2) .....	193
5 パラレルインタフェース .....	194
6 キーボード・マウスインタフェース (PS/2) .....	194
7 MIDI / ジョイスティックインタフェース .....	195
8 USB インタフェース .....	195
9 拡張スロット (ISA タイプカード、PCI タイプカード用) .....	195
<b>3</b> エラーメッセージ .....	200
1 ブザー音の回数 .....	200
2 エラーメッセージ .....	200
<b>4</b> その他の設定 .....	202
1 Windows 95 モデル .....	202
2 Windows 98 / 95 モデル .....	202
3 Windows NT モデル .....	207

# 1

## 電源を入れる前に

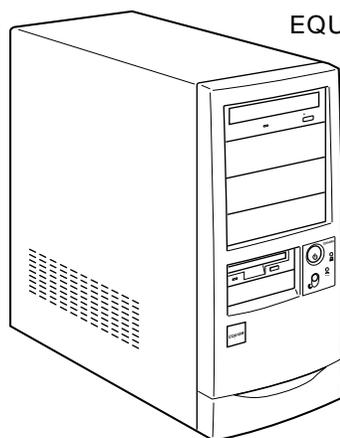
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

<b>1</b>	同梱品の確認 .....	14
<b>2</b>	各部の名称と機能 .....	16
<b>3</b>	設置環境 .....	24
<b>4</b>	取り扱いについて .....	26
<b>5</b>	使用上のお願い .....	32
<b>6</b>	接続について .....	35

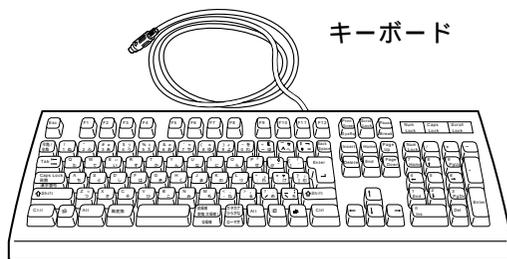
# 1 同梱品の確認

主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。

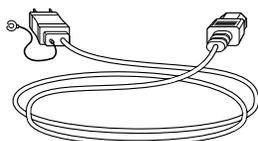
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



EQUIUM本体



キーボード



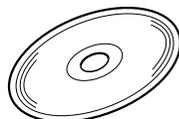
電源コード



マウス



Intel LANDesk  
Client Manager  
インストールCD-ROM  
(Windows 98 / 95モデルのみ)



アプリケーション&ドライバ  
CD-ROM  
(Windows 98 / 95モデル)  
アプリケーションCD-ROM  
(Windows NTモデル)



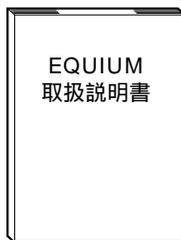
EQUIUM9000シリーズ  
Windows 98 / 95用  
カスタム・リカバリCD  
または  
Windows NT用リカバリCD  
(Windows NTモデルは2枚組)

- ・ 5型装置用増設ガイドレール 6本
- ・ 増設3.5型装置用ネジ ミリネジ 4本  
インチネジ 4本



メモ

- ・ Windows NTモデルに同梱されているアプリケーションCD-ROMには、Windows NTでご利用になれるドライバおよびアプリケーションが入っています。Intel LANDesk Client ManagerもアプリケーションCD-ROMに含まれています。アプリケーションCD-ROMの詳細については、アプリケーションCD-ROM内の「¥readme.txt」をご覧ください。



その他の説明書、ご案内など  
・安心してお使いいただくために  
・保守サービスのご案内  
・ソフトウェア使用許諾書  
・付属品チェックリスト  
・保証書  
など



メモ

- ・システムを Windows 98 / 95 から、Windows NT4.0 Workstation に変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応のドライバは東芝 PC Member's Club [ <http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/> ] に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。また、東芝 PC Member's Club ホームページにアクセスするには、ユーザ登録が必要です。

(注) この他にも、同梱物があります。確認には『付属品チェックリスト』をご覧ください。

# 2

## 各部の名称と機能

### 1

### 本体正面

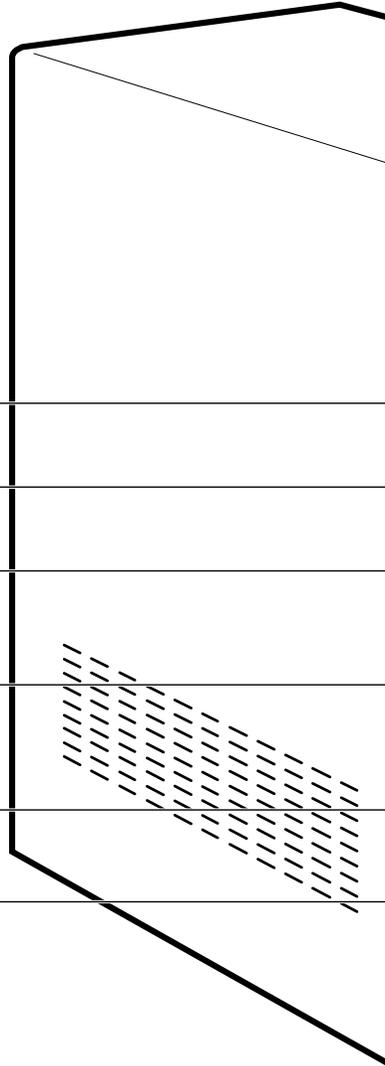
ディスクトレイ (CD-ROM装置)  
CDをセットする部分です。出し入れは、イジェクトボタンで行います。

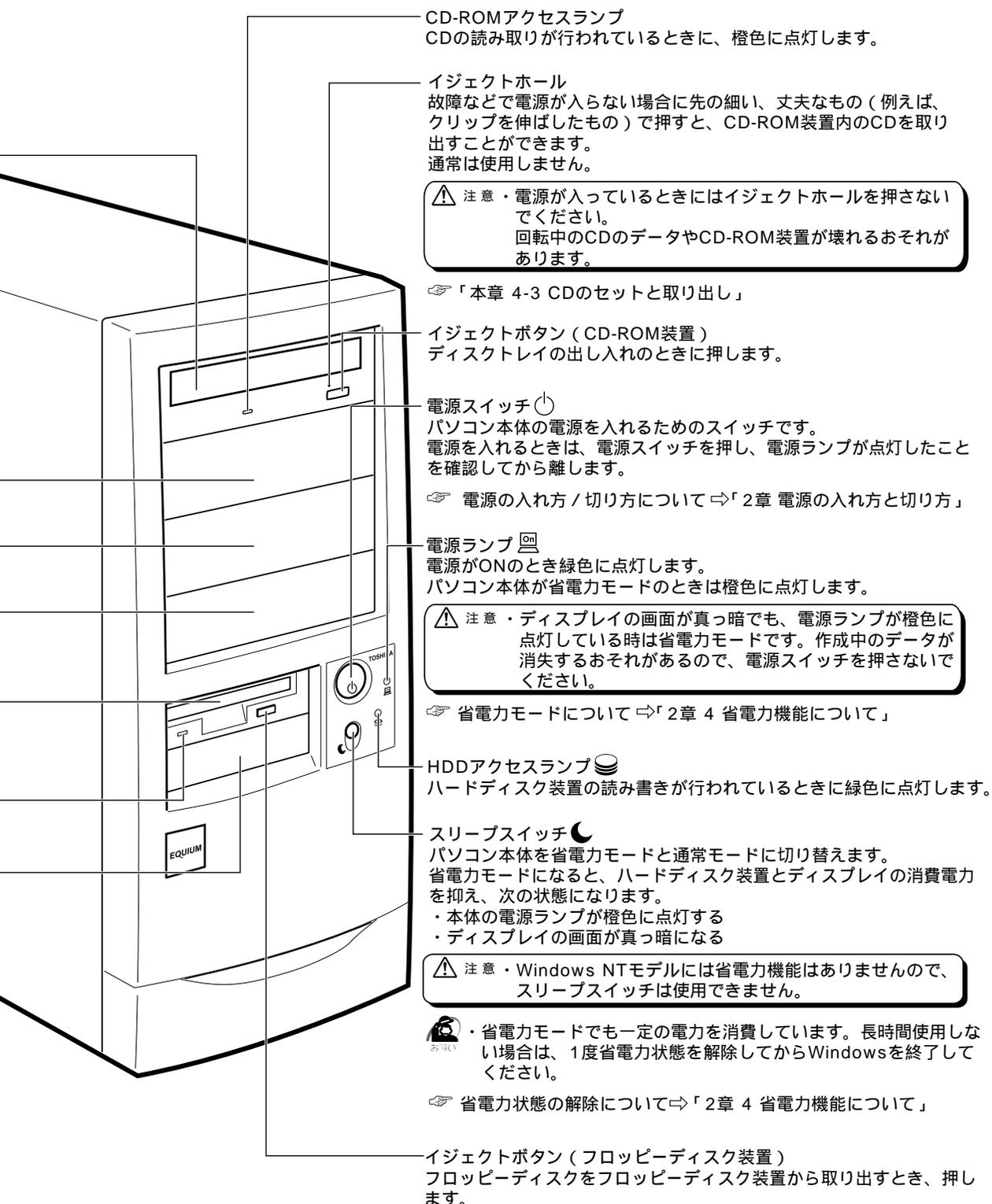
ファイルスロット  
5型タイプの周辺装置などを増設できます。

フロッピーディスク挿入口  
フロッピーディスクを挿入します。取り出しは、イジェクトボタンで行います。

FDDアクセスランプ  
フロッピーディスクの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

3.5型ドライブキャリア  
3.5型タイプの周辺装置などを増設できます。





## ② 本体背面

電源コネクタ (AC POWER INLET) —————

電源コードを接続します。

☞ 電源コードの接続について ⇒ 「1章 4-1 電源コードについて」

⇒ 「1章 6-6 電源コードの接続」

キーボードコネクタ  —————

付属のキーボードを接続します。

☞ キーボードの接続について ⇒ 「1章 6-4 キーボードの接続」

USBコネクタ2  —————

USB機器が接続できます。(Windows NT上では使用できません)

USBコネクタ1  —————

USB機器が接続できます。(Windows NT上では使用できません)

シリアルコネクタ (RS-232C、COM1)  —————

外付モデムなどが接続できます。

シリアルコネクタ (RS-232C、COM2)  —————

外付モデムなどが接続できます。

サウンドカード —————

MIDI/ジョイスティックポート —————

ジョイスティックなどを接続します。

マイク端子 —————

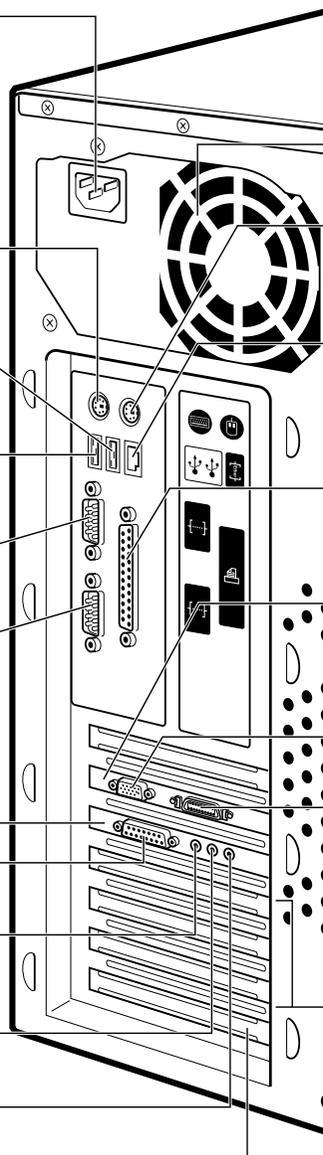
マイクが接続できます(本製品にはマイクは付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください)。

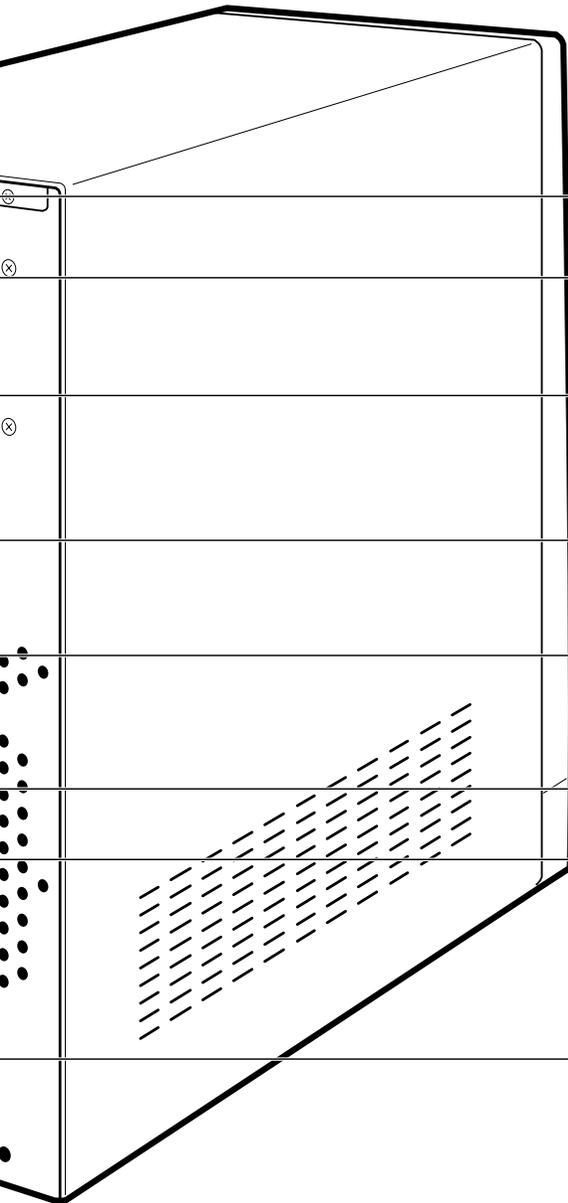
LINE IN端子 —————

オーディオ機器などが接続できます。

LINE OUT端子 —————

スピーカが接続できます(本製品にはスピーカは付属していません。アンプ付きスピーカをお買い求めください)。



**通風口**

本装置内部で発生する熱を放熱します。ふさがないようにください。

**マウスコネクタ**

付属のPS/2マウスを接続します。

☞ PS/2マウスの接続について ⇒「1章 6-5 マウスの接続」

**LANコネクタ** [Ethernet]

ネットワークケーブルを接続します。

☞ ネットワークケーブルの接続について

⇒「4章 2 LANの接続」

**パラレルコネクタ (プリンタ)**

プリンタが接続できます。

☞ プリンタの接続について ⇒「4章 3 プリンタの接続」

**表示カード (ディスプレイコネクタ)**

ディスプレイを接続します。

☞ ディスプレイの接続について

⇒「1章 6-3 ディスプレイ (別売り) の接続」

**アナログRGBコネクタ**

アナログディスプレイを接続するためのコネクタです。

**デジタルRGBコネクタ**

DFP準拠のディスプレイをつなげるためのコネクタです。

他社製デジタルRGBディスプレイにつなげた場合、正常に表示できない場合があります。

✖️ **アナログRGBディスプレイとデジタルRGBディスプレイの同時表示はサポートしていません。**

**PCIスロット**

PCI対応カードが取り付けられます。

☞ オプションカードの取り付けについて

⇒「4章 7 オプションカード」

**ISA/PCIスロット**

ISA対応カードまたはPCI対応カードが取り付けられます。

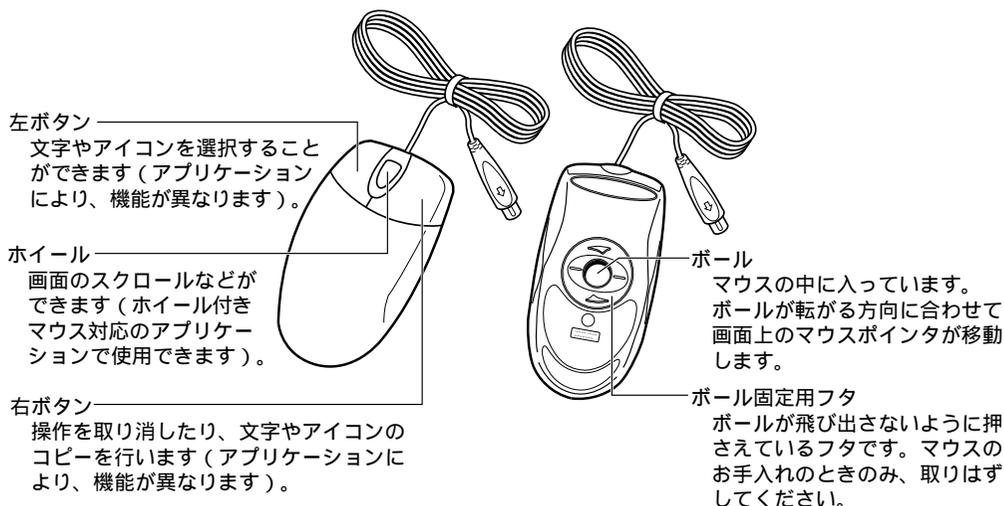
☞ オプションカードの取り付けについて

⇒「4章 7 オプションカード」

### 3 マウス

Windows は、画面に表示される「アイコン」「ボタン」「メニュー」などをマウスにより操作します。ここでは、マウスの使い方について説明します。

マウスは、本装置の電源を初めて入れたときに行う Windows セットアップから使用しますので必ずお読みください。



メモ

- ・[マウスのプロパティ]でマウスボタンやホイールの機能の割り当てを変更することができます。
- [マウスのプロパティ]画面の出し方
1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
  2. [マウス]アイコンをダブルクリックする
- [ボタン]タブで左ききの方などのために、左右のボタンの役割を替えることができます。また、ホイールボタンの機能を変更することもできます。

### マウスの動かし方

本装置を起動すると、画面上に矢印(  )が表示されます。これを「マウスポインタ」といいます。

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。

マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。



お願い

- ・マウスは平らな机の上などで使用してください。
- ・ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- ・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。
- ・左ボタン、右ボタンは、ボタンの中央付近を軽く押してください。
- ・強く押すと、ドラッグ時に、マウスポインタの動きが鈍くなったり、故障の原因となります。

## ● マウスの操作方法



お願い

・マウスのボタンは、ボタンの上に指を置いて押してください。上からたたくように押すと、故障の原因になります。

### ポイント

画面上のマウスポインタの先端を目的の位置に移動させて置くことをいいます。

### クリック

マウスのボタンを 1 回押して、すぐ離す動作をいいます。

特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

### ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく 2 回押して、すぐ離す動作をいいます。

特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

### ドラッグ

マウスの左ボタンを押したまま、別の場所に移動させることをいいます。

特に指定がない場合は左ボタンを使用します。

また、画面上の「アイコン」などのオブジェクトをドラッグして、移動先でボタンを離すことを「ドラッグ アンド ドロップ」といいます。

### ホイールを回す

ホイールを前後に回す動作をいいます。



メモ

・マウスの使い方は、標準状態であることを前提として書かれています。

## 4 キーボード

本装置のキーボードは、106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)に、Windowsをより快適に操作するためのWin(ウィンドウズ)キー、アプリケーションキーを追加した109キーボードです。

BackSpace(バックスペース)キー  
カーソルが左に移動し、文字が削除されます。

F(ファンクション)キー(F1~F12)  
各アプリケーションソフトにより、いろいろな機能が割り当てられます。

Esc(エスケープ)キー  
操作の取り消しなどに使用します。

Tab(タブ)キー  
項目を移動するときなどに使用します。

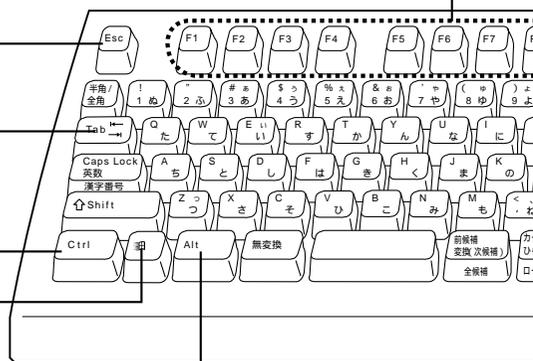
Alt(オルト)キー  
他のキーと組み合わせて使用します  
(アプリケーションごとに機能が異なります)。

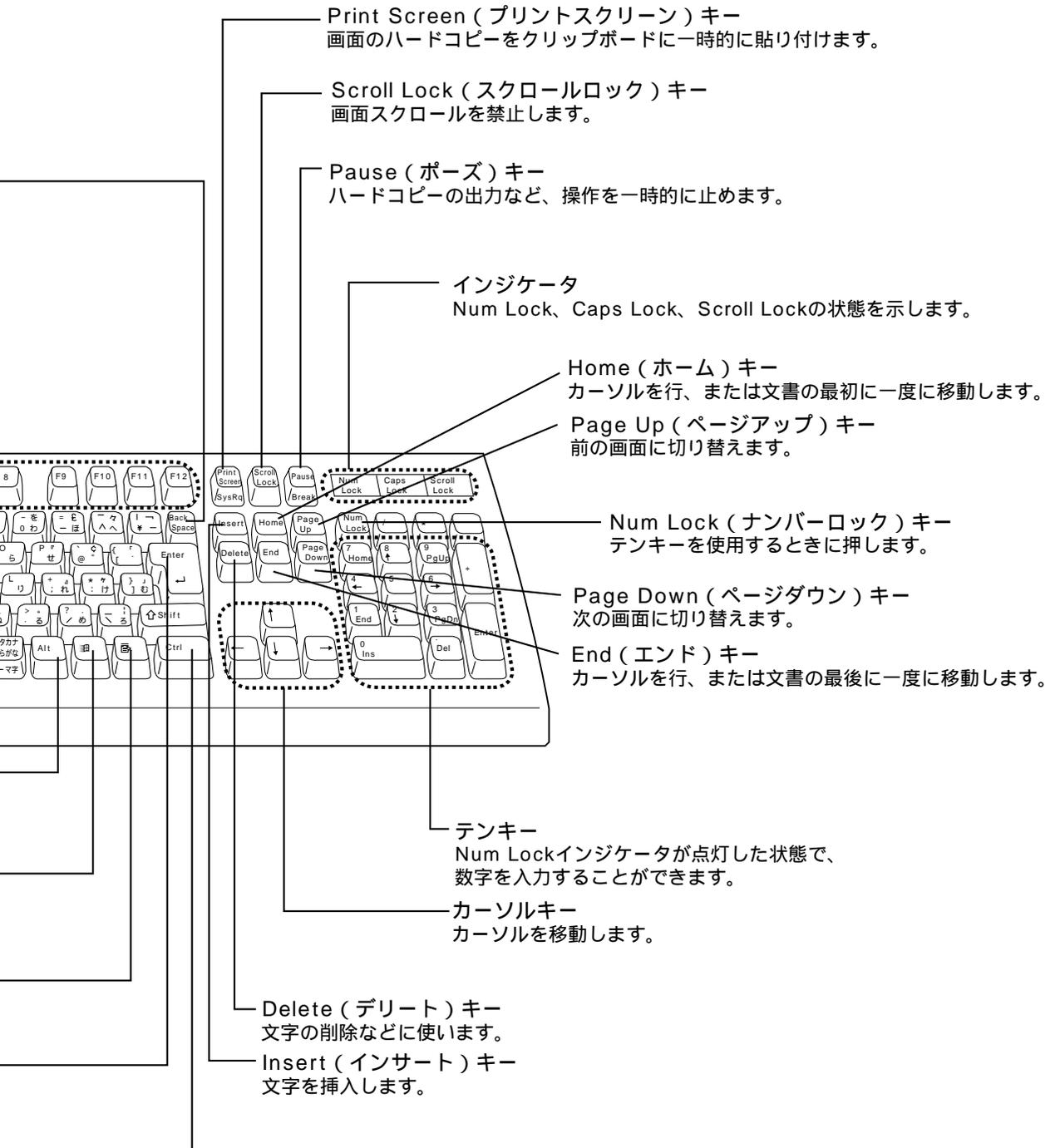
Win(ウィンドウズ)キー  
スタートメニューを表示したり、他のキーとの組み合わせで、ショートカットとして使用できます。

アプリケーションキー  
マウスの右ボタンをクリックすることと同様に動作します。

Enter(エンター)キー  
操作を実行するときなどに使います。

Ctrl(コントロール)キー  
他のキーと組み合わせて使用します(アプリケーションごとに機能が異なります)。





# 3 設置環境

## 1 設置場所について

凹凸のない水平な場所で、十分なスペースを確保できる場所を選んで設置してください。特に通風口のある背面は、少なくとも壁から 10cm 程度離すようにしてください。



**注意** ・本装置はタワー型で、縦長の構造となっています。  
不安定な場所に設置すると転倒のおそれがありますので、ご注意ください。



お願い

・本体を横向きで設置、使用しないでください。  
誤動作や故障の原因となります。

次の範囲で、急激な温度変化を与えない（結露させない）ようにご使用ください。

温度	10 ~ 35
湿度	30% ~ 80%Rh

## 2 電源について

空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

定格電圧	AC100V (50Hz / 60Hz)
消費電力	最大160W

## 3 健康のために

### 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する  
おしりよりも膝が少し高くなるように座る  
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する  
膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る  
前に屈んだり、背もたれに寄りかかったりしないでください。



## 使用方法

リラックスした姿勢で座る

肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。

適度に姿勢を変える

時々立ち上がってストレッチをする

1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。

長時間画面を見続けないようにする

15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。

1度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる

30分に2～3分とるのが理想的です。

ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する

 『ディスプレイに付属の説明書』

ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する

表示画面がホコリなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

# 4 取り扱いについて

## 1 電源コードについて

電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火災・感電の危険があります。次のことを必ず守ってください。



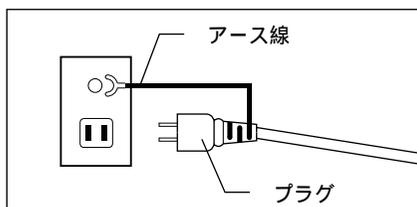
注意

- ・電源コードは、付属のアース線付き 2 ピンコードを使用してください。
- ・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておく、万一漏電した場合の感電を防止します。安全のため必ず接続してください。



お願い

- ・電源コードの接続は、アース線、プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ アース線）で行なってください。
- ・コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
- ・コードの上に重いものをのせないでください。
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
- ・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。



## 2 ハードディスク装置について



お願い

- ・電源が入っている状態で本体に衝撃、振動を与えないでください。HDDアクセスランプが消灯していてもハードディスク装置のヘッドはデータエリアにあります。
- ・パソコン本体の電源を切るとハードディスク装置のヘッドが自動的に退避されます。ただしハードディスク装置が停止するまでには、約 30 秒かかります。電源を切って 30 秒以上経過してから本体を移動してください。衝撃によってデータエリアを破壊するおそれがあります。

## 3 CD-ROM 装置について



お願い

- ・CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CD-ROM 装置の CD-ROM アクセスランプが点灯中は、イジェクトボタンは押さないでください。故障の原因となる場合があります。
- ・CD-ROM 装置を使用しないときは、必ず CD を取り出しておいてください。
- ・外側を切り欠いた CD など正常な円形ではない CD や、変形した CD、かたよった位置にラベルを貼った CD は使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。

### CD の取り扱い

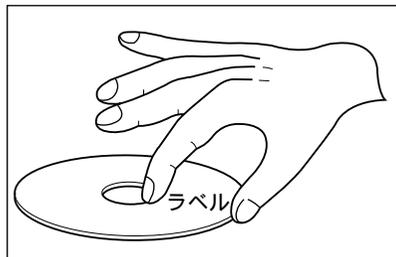
CD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD を読み込むことができなくなります。

CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD の上に重いものを置かないでください。

CD は専用のケースに入れ、保管してください。

CDを持つときは、外側の溝か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



CDの表面に文字などを書かないでください。

CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で放射状に拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

読み出しのできるCDは、次の種類です。

音楽CD

8cm、12cmの音楽用CDが聴けます。

フォトCD（Windows NTではご使用になれません）

CD-ROM

使用するシステムに適合するISO9660フォーマットのもの

CDエクストラ（Windows NTではご使用になれません）

CD-R（書き込みはできません）

CD-RW（書き込みはできません）



メモ

・ISO9660フォーマットとは、パソコンのシステム（OS）や機種が異なっても共通に利用することができるCD-ROMのフォーマットであり、ISO（国際標準化機構）が1988年に決めました。

## ● CD のセットと取り出し



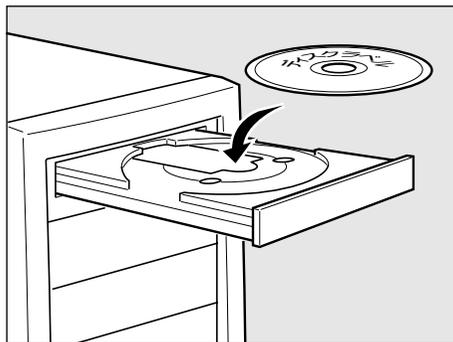
メモ

- ・ CD のセットと取り出しは、電源 ON 時に行なってください。電源 OFF 時にイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイの出し入れはできません。
- また、イジェクトボタンは、CD-ROM アクセスランプが消灯している状態で押してください。
- ・ 故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM 装置のイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。

### ● CD のセット

CD-ROM 装置へ CD をセットするには、次のように行います。

- 1** CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す  
ディスクトレイが出てきます。
- 2** CD ディスクラベルを上にして、ディスクトレイの中央にのせる
- 3** CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す  
ディスクトレイが格納されます。



### ● CD の取り出し

CD-ROM 装置から CD を取り出すには次のように行います。

- 1** CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す  
ディスクトレイが出てきます。
- 2** CD の中央と外側の縁を持って取り出す
- 3** CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押す  
ディスクトレイが格納されます。

## 4 フロッピーディスク装置について



- 注意** ・フロッピーディスク装置のFDD アクセスランプが点灯中は、データの書き込み、読み取り中です。  
アクセスランプが点灯中に次のことを行くと、フロッピーディスク内のデータが消失することがあります。
- ・フロッピーディスク装置のイジェクトボタンを押す
  - ・パソコン本体の電源を切る

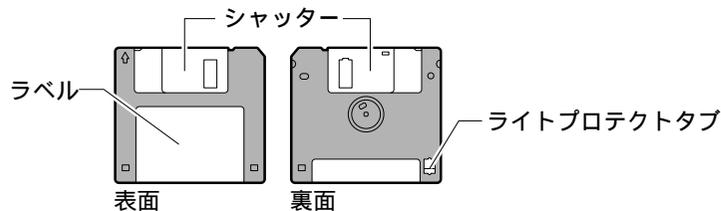


お願い

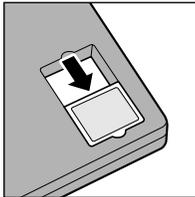
- ・フロッピーディスク装置を使用しないときは、必ずフロッピーディスクを取り出してお願いください。

### 3.5 型フロッピーディスク

フロッピーディスクには、大切な情報を保護するための書き込み保護機構がついています。これにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。

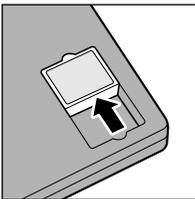


#### 書き込み保護をセットするには



図のようにライトプロテクトタブを外側に移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み込みはできます。

#### 書き込み保護を解除するには



図のようにライトプロテクトタブを内側に移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み込みもできます。

なお、いずれの場合も「カチッ」と音がするまでライトプロテクトタブを移動させてください。

## ● フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部は開けないでください。また、磁性面には触れないでください。磁性面が汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消失するおそれがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。

本やノートなど重いものを上に載せないでください。

次の範囲内の環境で保管してください。

保管温度 4 ~ 53

保管湿度 8 ~ 90%Rh

ラベルは正しい位置に貼ってください。貼りかえるときは重ね貼りしないでください。

ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。

他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

フロッピーディスクがパソコン本体のフロッピーディスク装置に正しく挿入されていないと、次のようなメッセージのウィンドウが表示され、フロッピーディスクの読み書きができません。次のようなメッセージのウィンドウが表示されたら、[キャンセル]または[いいえ(N)]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。そのあとフロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。ドライブA: をアクセスしたとき、「A:¥にアクセスできません。デバイスの準備ができていません」などのメッセージウィンドウが表示される

フォーマット済みのフロッピーディスクを挿入しても、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか?」というメッセージのウィンドウが表示される



## ● フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

### ● フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅に書かれている矢印の向きに合わせて挿入する  
「カチッ」と音がするまで挿入します。  
正しくセットされるとフロッピーディスク装置のイジェクトボタンが出てきます。

### ● フロッピーディスクの取り出し

- 1 フロッピーディスク装置のイジェクトボタンを押す  
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

 **注意** ・FDD アクセスランプが緑色に点灯しているときに、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンを押さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

# 5 使用上のお願い

## 1 連続運転について

長時間の（24 時間を超えるような）連続運転をしないでください。  
パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。また、一時的に使用を中断するときは、パソコン本体前面のスリープスイッチを押してシステムを省電力モードにしてください。システム、ハードディスク装置、CRT ディスプレイなどを省電力モードにすることができます。

☞「2 章 4 省電力機能について」



メモ

・Windows NT モデルには省電力機能はありません。

長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 2 日常のお手入れと保管・運搬

本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。

ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。

また殺虫剤などをかけないようにしてください。

梱包箱を保管しておくことと輸送などに使用でき便利です。

移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。

フロッピーディスク装置または CD-ROM 装置は、市販のクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

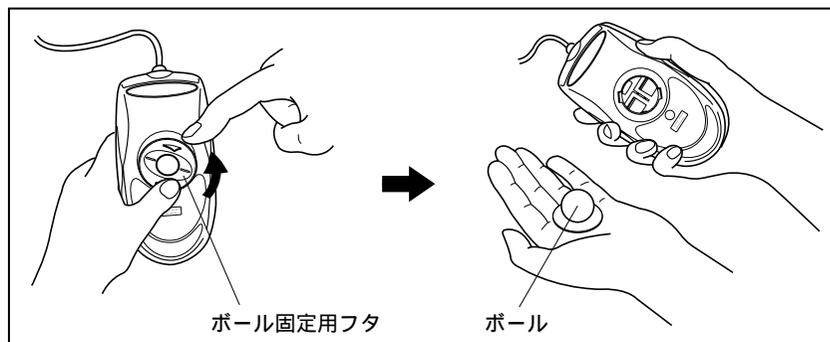
電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。キーボードのキーの下やすきまに入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。

マウスを長時間使用していると、ホコリ等がボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

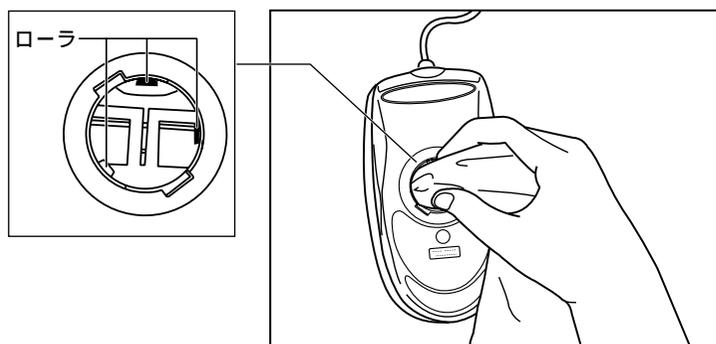
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

パソコン本体の電源を切ってください。

マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

ボール固定用のフタを、矢印方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

お願い

### 3 消耗品

内蔵バッテリーの寿命は約3年です。交換の際は、市販のCR2032のリチウム電池を使用してください。

☞「4章 12 内蔵バッテリーの交換」

### 4 妨害電波・電圧について

本装置はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
- テレビ、ラジオから離す。
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- 受信機に屋外アンテナを使う。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。

VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

### 5 修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションまたはお買いあげの販売店にご相談ください。

### 6 廃棄について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

また、本体を廃棄する場合も同様に地方自治体の条例、または規則に従ってください。

# 6 接続について

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- ・本体および接続する機器の電源を切るか、または電源スイッチを OFF にする
  - ・ケーブル類の取り付け / 取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
  - ・コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定する
  - ・プリンタやメモリ、LAN ケーブルなど、本体に添付されていない機器は、システムのセットアップが終了してから接続する
- ⇒ システムのセットアップについて ⇒ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」  
⇒ 添付されていない機器の接続について ⇒ 「4 章 機器の拡張について」

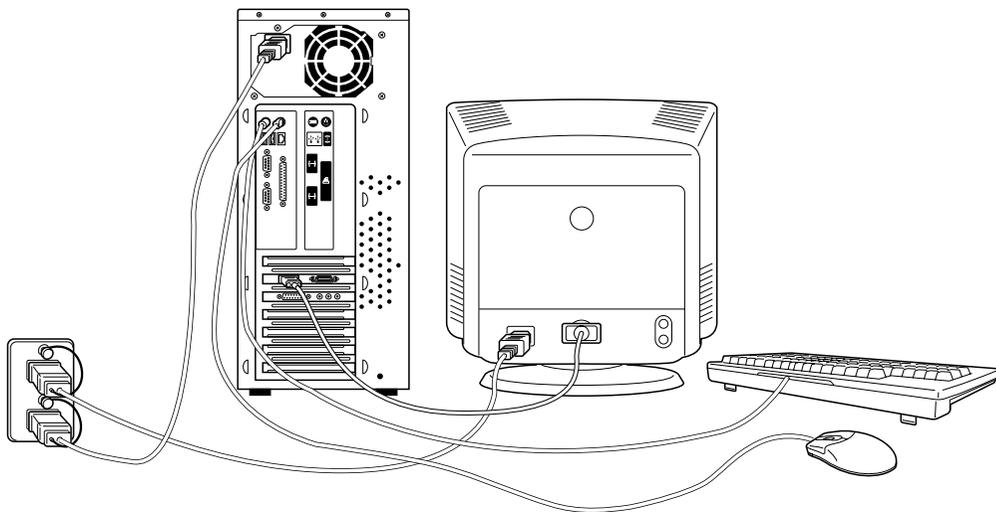


メモ

・USB コネクタ 1、USB コネクタ 2 は、Windows NT 上では使用できません。

## 1 接続完成図

EQUIUM 9000 シリーズの接続例を次に示します。

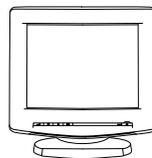
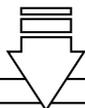


(注) EQUIUM 9000 シリーズにディスプレイは同梱されておりません。

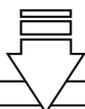
## 2 接続の順番

付属品を接続する場合は、次に示されている順番に従って、接続を行なってください。

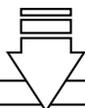
1. ディスプレイ（別売り）を  
本体と電源コンセントに



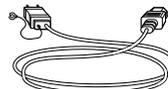
2. キーボードを本体に



3. マウスを本体に



4. 電源コードを本体と電源コンセントに  
(注)最後に接続してください。



本装置の付属品を取りはずす場合は、本体の電源を切った後、それぞれの取りはずし方法に従って取りはずしてください。取りはずす際は、最初に電源コードを取りはずしてください。その後の順番は関係ありません。

### ③ ディスプレイ（別売り）の接続

接続の際は、ディスプレイに付属の説明書をご覧のうえ、作業を行なってください。  
ディスプレイは必ず接続してください。



お願い

- ・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。  
市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
- ・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
- ・電源コードを接続する場合は、(1)アース線、(2)プラグの順に行なってください。



メモ

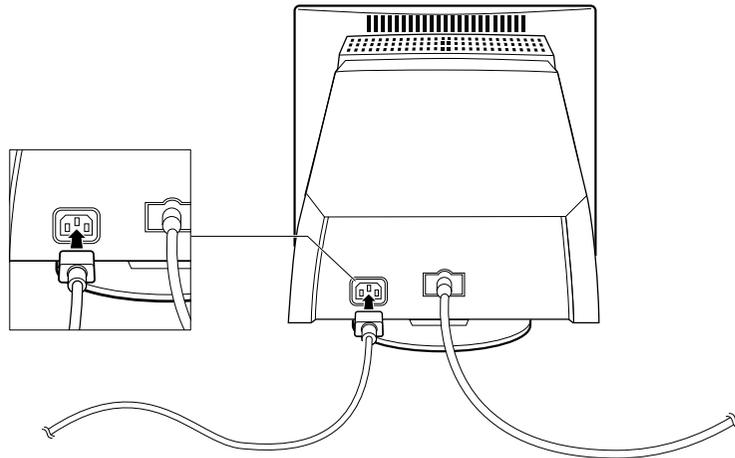
- ・アナログRGBディスプレイとデジタルRGBディスプレイの同時表示はサポートしていません。
- ・デジタルRGBディスプレイの場合の最大解像度は1024 × 768 となります。  
1024 × 768 より小さい解像度の画面を表示する場合、ドライバの拡張機能でいくつかの画素を集めて擬似的に1024 × 768 の画面を作り出すため、文字や線などが鮮明に表示されない場合があります。

## ● アナログRGBディスプレイの接続

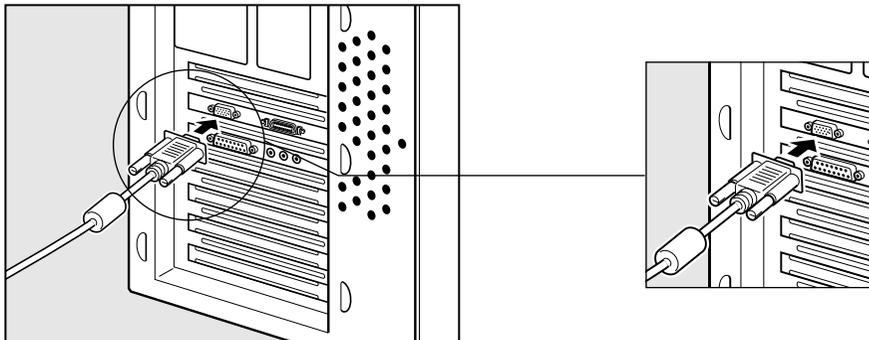
### ● 取り付け

ここでは別売りの17型カラーディスプレイA(PVCRT17B)を例に取り付け/取りはずし方法を説明します。

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



- 3 アナログ RGB 信号ケーブルコネクタに装着してある保護キャップを取りはずす
- 4 アナログ RGB 信号ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタに接続し、固定用ネジを手で回して固定する



お願い

- ・固定用ネジは、必ず手でまわして固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。
- ・取りはずした保護キャップは大切に保管しておいてください。
- ・ディスプレイを移動する場合は、信号ケーブルコネクタのピン曲りを防止するため、保護キャップを再度取り付けてから移動してください。

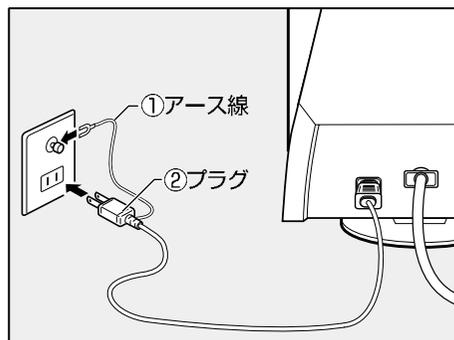
- 5 ディスプレイに付属のオーディオケーブル（2本）を本体背面のオーディオコネクタに接続する（赤色プラグをマイク端子（赤色）に、青色プラグを LINE OUT 端子（緑色）に接続する）



メモ

- ・ディスプレイの機種によっては、オーディオケーブルが付属しない場合があります。この場合は、パソコン本体背面の、マイク端子にマイクを、LINE OUT 端子にスピーカを接続してください。
- ☞ 詳細について ☞ 『お使いのディスプレイに付属の説明書』

- 6 電源コードのアース線をアース端子に接続する



- 7 電源コードのプラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む



注意 ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

## ● 取りはずし

信号ケーブル、オーディオケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。

電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。



**注意** ・信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがディスプレイコネクタから完全にはずれた状態で行なってください。

固定用ネジがディスプレイコネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

## ● デジタルRGB ディスプレイの接続

ここでは別売りの15型フラットパネルディスプレイH (PVLCD15H) を例に取り付け/取りはずし方法を説明します。

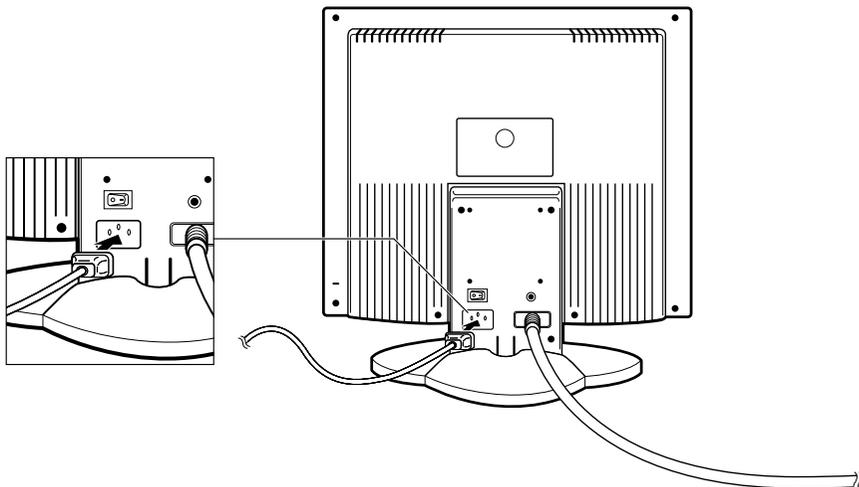


メモ

・デジタルRGBディスプレイの場合の最大解像度は1024 × 768となります。

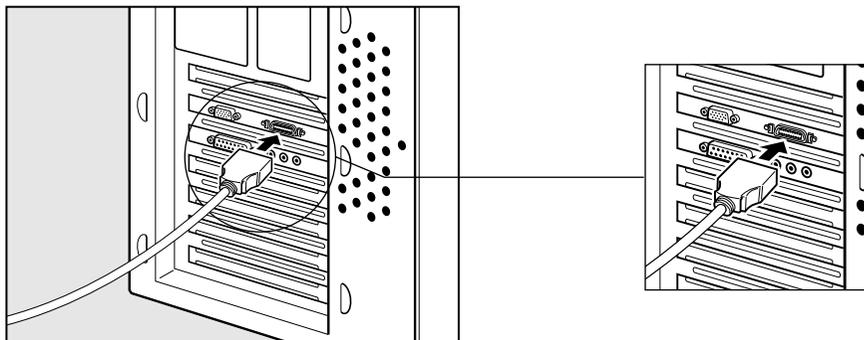
## ● 取り付け

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



### 3 デジタルRGB信号ケーブルコネクタを本体背面のデジタルRGBコネクタに接続する

カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。



### 4 ディスプレイに付属のオーディオケーブルをディスプレイ背面のオーディオ端子と本体背面のLINE OUT端子に接続する



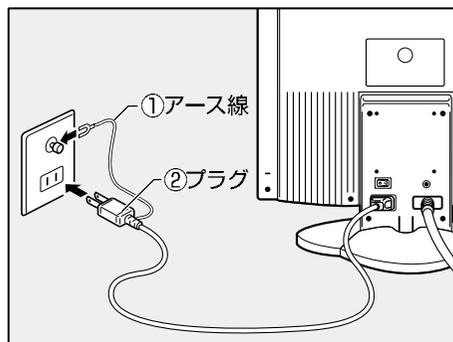
メモ

・ディスプレイの機種によっては、オーディオケーブルが付属しない場合があります。この場合は、パソコン本体背面の、マイク端子にマイクを、LINE OUT端子にスピーカを接続してください。

☞ 詳細について ☞ 『お使いのディスプレイに付属の説明書』

### 5 電源コードのアース線をアース端子に接続する

### 6 電源コードのプラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む



注意 ・AC100V以外のコンセントには差し込まないでください。

### ● 取りはずし

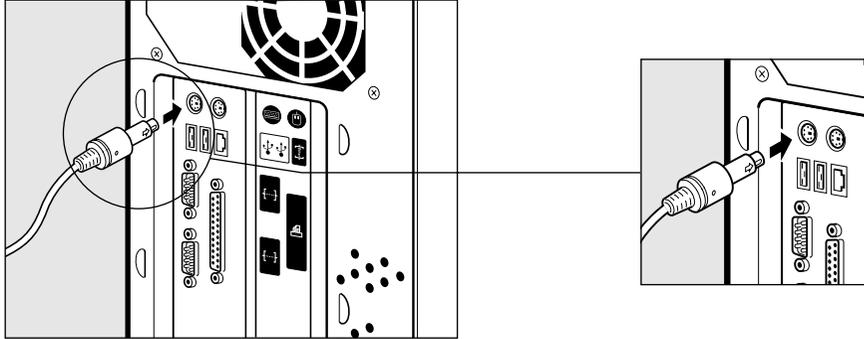
デジタルRGB信号ケーブル、オーディオケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。

電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。

## 4 キーボードの接続

**注意** ・キーボードの接続は本体の電源が切れている状態で行なってください。  
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となることがあります。

- 1 キーボードのプラグを本体背面のキーボードコネクタ  に差し込む  
キーボードは、プラグに刻印されている矢印マークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



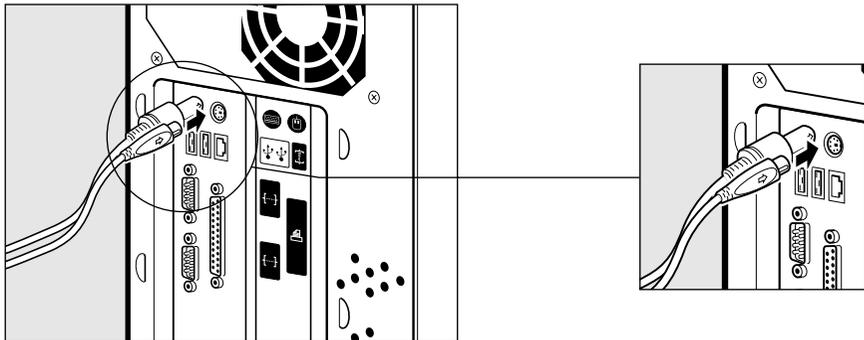
1章

電源を入れる前に

## 5 マウスの接続

**注意** ・マウスの接続は本体の電源が切れている状態で行なってください。  
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となることがあります。

- 1 マウスのプラグを本体背面のマウスコネクタ  に差し込む  
マウスは、プラグに刻印されている矢印マークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



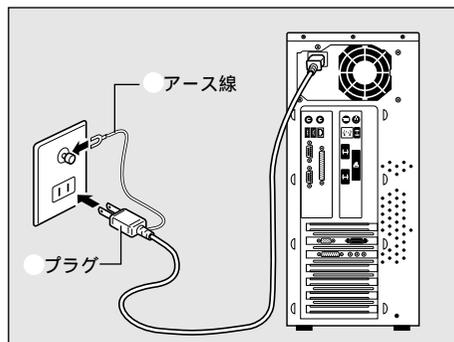
## 6 電源コードの接続



お願い

- ・電源コードの接続は、最後に行なってください。
- ・電源コードの接続は、アース線 プラグの順に行なってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ アース線）で行なってください。

- 1 ディスプレイの電源スイッチが切断されていることを確認する
- 2 電源コードのプラグを本体背面の電源コネクタに差し込む
- 3 電源コードのアース線をアース端子に接続する
- 4 プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む



- 注意** ・電源コードは、付属のアース線付き 2 ピンコードを使用してください。
- ・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておく  
と万一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。

# 2

## 電源の入れ方と切り方

本章では、パソコン本体の電源の入れ方と切り方について説明します。

<b>1</b>	電源の入れ方 .....	44
<b>2</b>	初めて電源を入れるときは .....	45
<b>3</b>	電源の切り方 .....	69
<b>4</b>	省電力機能について .....	72

# 1 電源の入れ方

初めて電源を入れた場合は、システムのセットアップが始まります。Windows 98 または Windows 95 モデルのセットアップは 15 ~ 30 分、Windows NT モデルのセットアップは 5 ~ 10 分程度の時間が必要です。

☞ セットアップ方法 ☞ 「本章 2 初めて電源を入れるときは」

周辺機器を接続して使用する場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

☞ 周辺機器の電源の入れ方について ☞ 『周辺機器に付属の説明書』



お願い

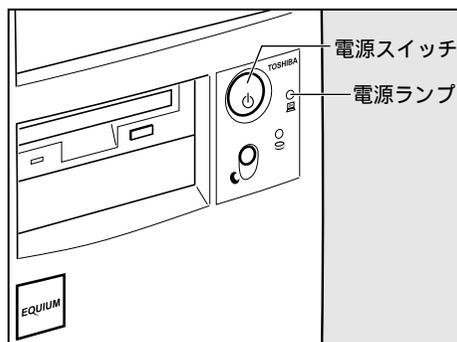
・プリンタやメモリ、LAN ケーブルなど、本体に付属していない機器は、システムのセットアップが終了してから接続してください。

☞ システムのセットアップについて ☞ 「本章 2 初めて電源を入れるときは」

## 1 ディスプレイなど接続している周辺機器装置の電源を入れる

## 2 本体前面の電源スイッチ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ）が点灯します。本装置は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



メモ

・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行いません。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。

☞ セルフテストでのエラーの対処方法について ☞ 「付録 3 エラーメッセージ」

・フロッピーディスク（システムの入っていないもの）を入れたまま電源を入れると、システムが起動しません。フロッピーディスクを取り出して、再度電源を入れてください。

## ② 初めて電源を入れるときは

初めて電源を入れたときは、Windows を使えるようにするための「Windows セットアップ」を行う必要があります。この操作は購入後初めて電源を入れるときのみ行います。1度システムのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにシステムを使用することができます。

セットアップの方法はWindows 98 / 95 / NTでそれぞれ異なります。

本節では、Windows 98 / 95 / NTそれぞれのセットアップの方法を記載しています。ご購入のシステムを確認のうえ、セットアップを行なってください。



### 注意

- ・マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
- ・メモリやオプションカードを増設していたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。増設や接続はシステムのセットアップ終了後に行なってください。
- ・セットアップを行うときは、LAN ケーブルは接続しないでください。LAN ケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値 (default) のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
- ・システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
- ・やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。



お願い

- ・ケーブル類が確実に接続されていることを、再度確認してください。
- ・セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム (Windows 98 / 95 / NT) やアプリケーションを使用することはできません。
- ・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・20分以上キーを押さない (マウスの操作も含む) 場合、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。**[Shift]** キーを押すか、マウスを動かすと画面に表示されます。
- ・Windows 98 / 95 モデルの場合、起動に時間がかかることがあります。これは出荷時にLANの設定がされているためであり、故障ではありません。
  - ☞ 回避方法
    - ☞ セットアップ終了後、[スタート]メニュー - [はじめに] - [リリース情報]
- ・カスタム・リカバリ CD やリカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

# 1 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分で終了します。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書(Windows のライセンス)の同意

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[ 同意する ] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

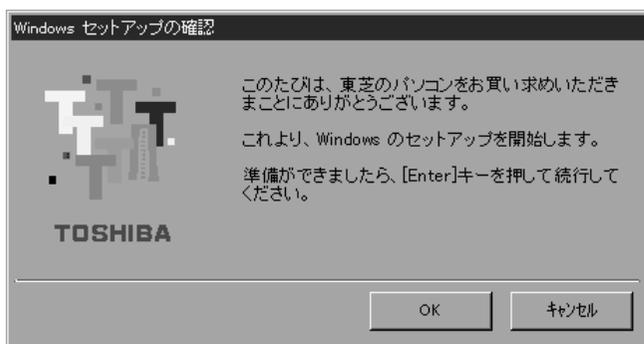
プロダクトキー入力

パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されているプロダクトキーを入力します。

日付と時刻の設定

「日付と時刻のプロパティ」画面の [ 日付と時刻 ] タブで、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

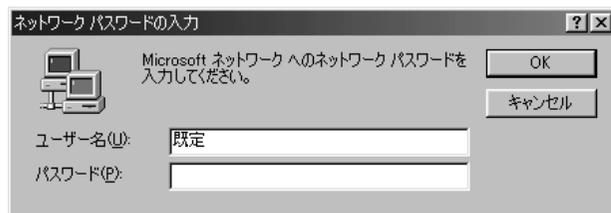
初めて電源を入ると、[ Windows セットアップの確認 ] 画面が表示されます。



## 1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ ネットワークパスワードの入力 ] 画面が表示されます。



## 2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Delete] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt] キーを押したまま、[半角/全角] キーを押してください。



メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4 ~ 8 文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

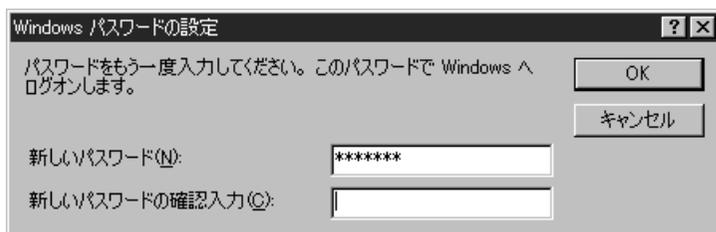
使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [ ] ; : , / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全角文字（2バイト文字）</li> <li>・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など</li> <li>・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift] キーなどを使用する）文字 【例】 （パーチカルライン）、&amp;（アンド）、（チルダ）など</li> <li>・¥（エン）  キーや  キーを押すと ¥ が入力されます。</li> </ul>	

入力したパスワードは「\*\*\*\*」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[ Windows パスワードの設定 ] 画面が表示されます。



- 4** 登録したパスワードをもう一度入力し、[ OK ] ボタンをクリックする [ ようこそ ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[ OK ] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Delete] キーで [ 新しいパスワードの確認入力 ] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す  
カーソルが [ 新しいパスワード ] に戻ります。
- 3 [Delete] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [ 新しいパスワードの確認入力 ] に同じパスワードを入力する
- 7 [ OK ] ボタンをクリックする

## 5 [Esc]キーを押す

MS-IMEのチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は[M]キーを押してください。入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98 へようこそ]画面が表示されます。



## 6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、[Tab]キーを押します。ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム(MS-IME)を起動します。[Alt]キーを押したまま、[半角/全角]キーを押してください。

## 7 [次へ]ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約]画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

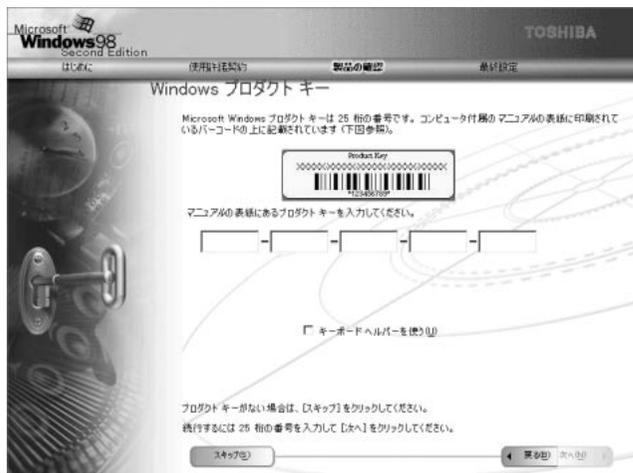
表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、[PageUp]キー、[PageDown]キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続けることはできません。



## 8 画面の [ 同意する ] をチェック ( 左側の 印をクリック ) して、[ 次へ ] ボタンをクリックする

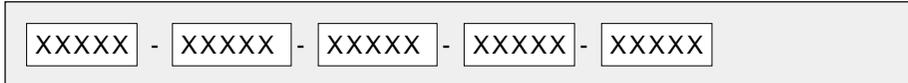
[ Windows プロダクトキー ] 画面が表示されます。



## 9 プロダクトキーを入力する

プロダクトキーは、パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。

【例】



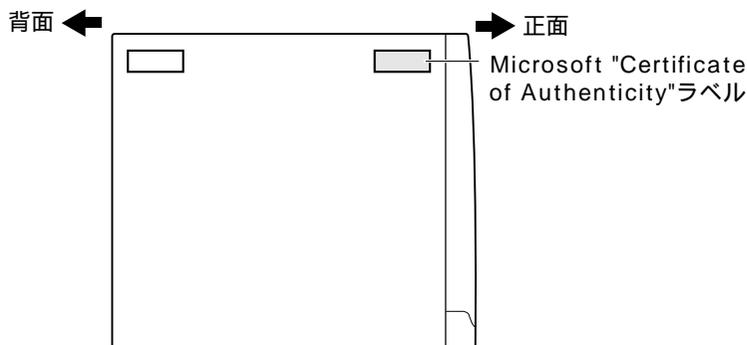
入力を間違えた場合は、`[ BackSpace ]` キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・プロダクトキーは、1度入力して確定すると変更することができませんので、正確に入力してください。
- ・プロダクトキーはパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
この Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、絶対になくさないでください。  
再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、パソコン本体の次の位置に貼られています。



- 10** [次へ] ボタンをクリックする  
[セットアップの完了] 画面が表示されます。



- 11** [完了] ボタンをクリックする  
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



- 12** [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する  
正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。
- 13** [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する  
「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 14 [閉じる] ボタンをクリックする

[日付] [時刻] [タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。  
Windows のセットアップが終了します。



メモ

・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

### ● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

## ② Windows 95 のセットアップ

Windows 95 のセットアップでは、次のことを行います。  
 セットアップは 15 ~ 30 分程で終了します。

### ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書への同意

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。

### Product ID 入力

パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されている Product ID を入力します。

### 日付と時刻の設定

コンピュータの日付と時刻を設定します。

### プリンタウィザード

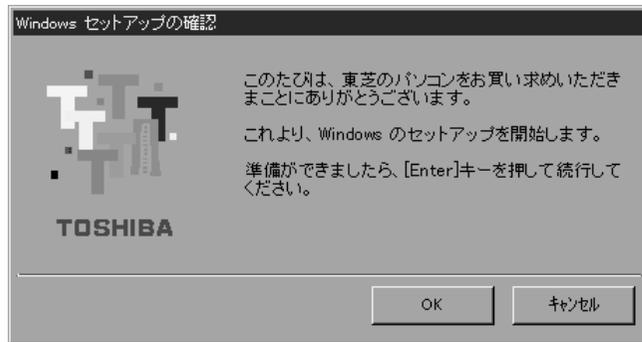
セットアップ後に設定することができますので、ここでは設定しません。

## 2章

電源の入れ方と切り方

## ● セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、次の [ Windows セットアップの確認 ] 画面が表示されます。



### 1 [Enter] キーを押す

Windows 95 のセットアップが開始されます。

システムが再起動し、[ ユーザー情報 ] の画面が表示されます。



## 2 名前と会社名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。会社名を入力するには、名前を入力した後 **[Tab]** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 **[N][A][K][A][T][A]** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**[Enter]** キーを押す

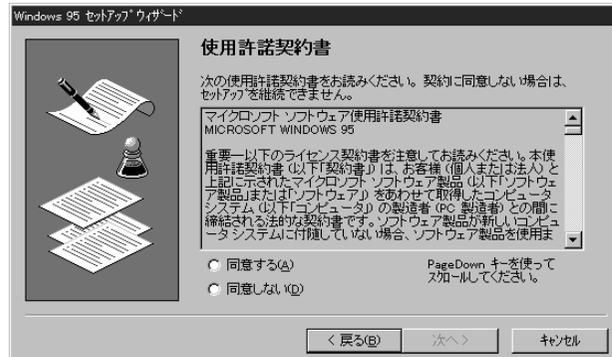
“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は**[Space]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[Enter]** キーを押す

**[Space]** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**[Enter]** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 3 [次へ] ボタンをクリックする

[使用許諾契約書] の画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、**[次へ]** ボタンをクリックするか **[PageUp]** キー、**[PageDown]** キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

#### 4 画面下部の [ 同意する(A) ] をチェック (左側の をクリック) して、 [ 次へ ] ボタンをクリックする



・[ 同意しない(D) ] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ Certificate of Authenticity ] の画面が表示されます。



#### 5 Product ID を入力する

Product ID は、パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。

【例】

XXXXX	-OEM-	XXXXXXXX	-	XXXXX
-------	-------	----------	---	-------

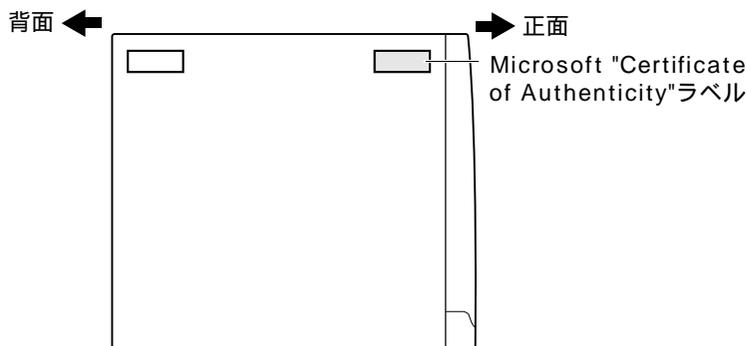
入力を間違えた場合は、**[ BackSpace ]** キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・ Product ID は、1 度入力して確定すると変更することができませんので、正確に入力してください。
- ・ Product ID はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
この Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、絶対になくさないでください。  
再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

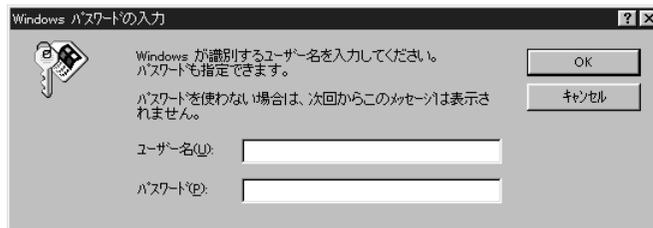
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、パソコン本体の次の位置に貼られています。



- 6** [次へ] ボタンをクリックする  
「ウィザードの開始」画面が表示されます。



- 7** [完了] ボタンをクリックする  
[ Windows パスワードの入力 ] 画面が表示されます。



- 8** [キャンセル] ボタンをクリックする  
ネットワークパスワードの設定は、セットアップ終了後に Windows 95 上で行うことができるので、ここではネットワークパスワードの設定は行いません。  
☞ ネットワークパスワードの設定について ☞ 「4 章 2-4- 起動時のパスワードの入力」

[キャンセル] ボタンをクリックすると、パソコンの環境設定が始まります。しばらくすると、[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



**9** [タイムゾーン]で「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

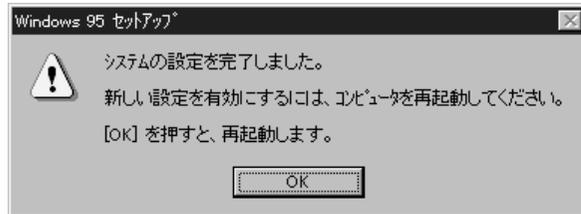
**10** [日付と時刻]タブをクリックし、日付および時刻を設定して[閉じる]ボタンをクリックする

「Microsoft Exchange」の環境設定が行われます。  
終了すると「プリンタウィザード」画面が表示されます。

**11** [キャンセル]ボタンをクリックする

プリンタの設定はセットアップ終了後にWindows 95上で行うことができるので、ここでは、プリンタの設定は行いません。

Windows 95 セットアップのシステムの設定完了の画面が表示されます。

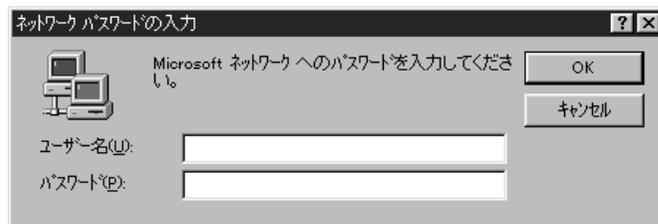


☞ Windows95 上でプリンタを設定する方法について

☞ 「4章 3-2 プリンタ設定について」

**12** [OK]ボタンをクリックする

Windows 95 のセットアップが完了しました。コンピュータが再起動し、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されます。

**13** ユーザー名を入力する

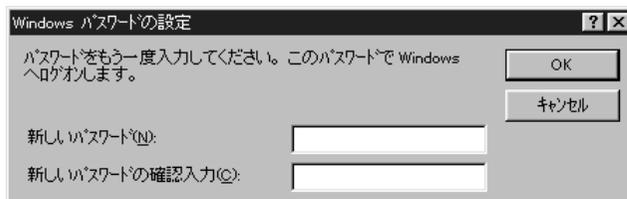
パスワードは入力しないでください。

ただし、ユーザー名は入力しないと、通信アプリケーションが正しく動作しませんので必ずユーザー名を入力してください。

ユーザー名とパスワードの設定は、セットアップ終了後に変更することができます。

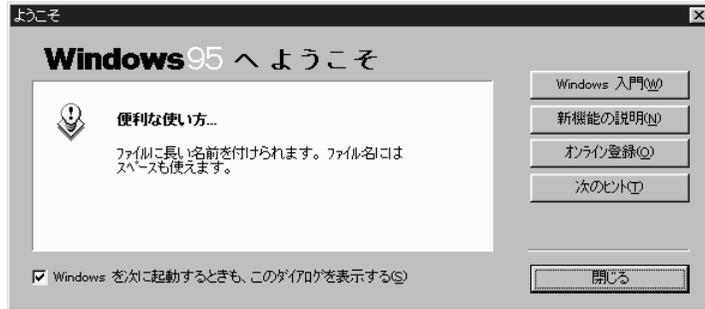
[Windows パスワードの設定]画面が表示されます。

☞ ネットワークパスワードの設定方法について ☞ 「4章 2-4- 起動時のパスワードの入力」



## 14 [OK] ボタンをクリックする

[ようこそ] 画面が表示されます。



この画面の [ Windows 入門(W) ] [ 新機能の説明(N) ] [ 次のヒント(T) ] などのボタンをクリックすることにより Windows 95 の概要を知ることができます。

Windows 95 をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。

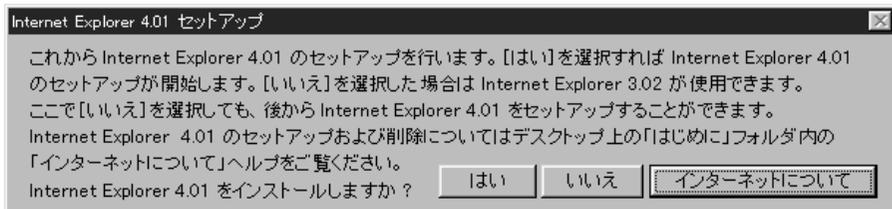


メモ

- ・ [ようこそ] の下部にあるチェックボックス (Windows 95 を次に起動するときも、このダイアログを表示する) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 95 が起動したときは [ようこそ] は表示されません。
- ・ [ようこそ] ダイアログボックスを再表示するときは、[スタート] メニューから [プログラム]-[アクセサリ]-[ヒントとツアー] をクリックしてください。

## 15 [閉じる]ボタンをクリックする

「Internet Explorer 4.01 セットアップ」画面が前面に表示されます。



Internet Explorer 3.02 をお使いになる場合は、[いいえ] を選択してください。

Internet Explorer 4.01 をお使いになる場合は、[はい] を選択して、画面の指示に従ってセットアップを行なってください。



メモ

- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。  
☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』をご覧ください。

## 3 Windows NT のセットアップ

Windows NT のセットアップは、5 ~ 10 分程度で終了します。

Windows NT のセットアップでは、次のことを行います。

Windows NT のライセンスの説明

Windows NT のライセンス内容をお読みください。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書への同意

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

コンピュータ名の設定

ネットワーク上でパソコンを個別に認識するための、コンピュータ名を登録します。

プロダクトID入力

パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されているプロダクトIDを入力します。

日付と時刻の設定

コンピュータの日付と時刻を設定します。

セットアップ終了後に、Administrator パスワードの設定と、システム修復ディスクの作成を行なってください。

☞ 「本項 Administrator パスワードの設定 / 変更」

☞ 「本項 システム修復ディスクの作成」

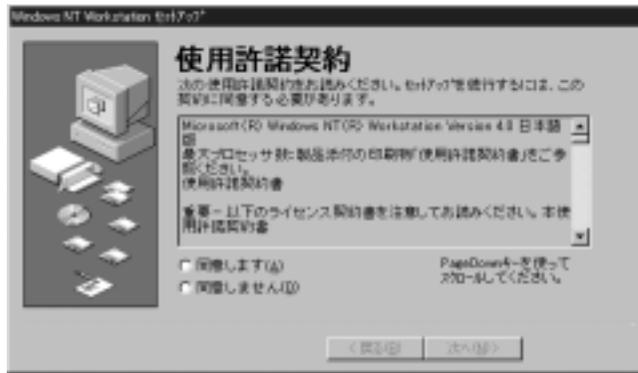
Windows NT モデル工場出荷時のパーティション設定は、最初の 2GB が FAT (C ドライブ) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、ディスクアドミニストレータを使用してください。

### セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、[ Windows NT セットアップ ] 画面が表示されます。



- 1** [次へ(N)] ボタンをクリックする  
[使用許諾契約] 画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、**次へ(N)** ボタンをクリックするか **PageUp** キー、**PageDown** キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

- 2** 画面下部の [同意します(A)] をチェック (左側の  印をクリック) して  
[次へ(N)] ボタンをクリックする

 ・[同意しません(D)] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[名前と組織名] 画面が表示されます。



### 3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

**1** **N A K A T A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

**2** ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は **Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

**Space** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

### 4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

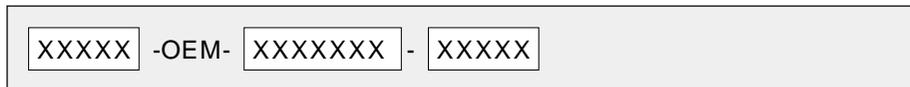
[登録] 画面が表示されます。



## 5 プロダクト ID を入力する

プロダクト ID は、パソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。

【例】



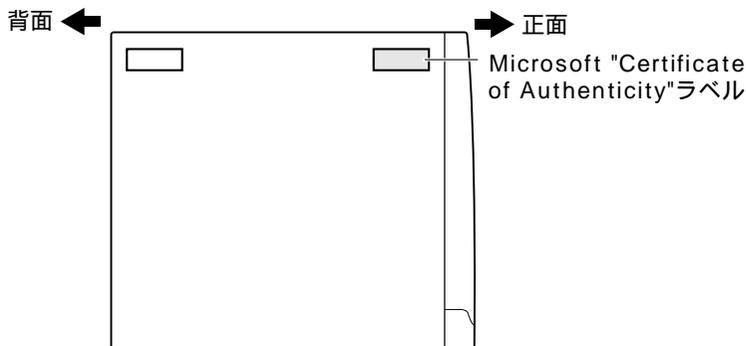
入力を間違えた場合は、**[BackSpace]** キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・プロダクト ID は、1 度入力して確定すると変更することができませんので、正確に入力してください。
- ・プロダクト ID はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
この Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、絶対になくさないでください。  
再発行はできません。  
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、パソコン本体の次の位置に貼られています。



## 6 [次へ (N)] ボタンをクリックする

[コンピュータ名] 画面が表示されます。



**7** コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

・コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrator 権限でログオンし、[コントロールパネル]の[ネットワーク]を起動して変更してください。

**8** [次へ(N)] ボタンをクリックする

[セットアップは終了しました]画面が表示されます。

**9** [完了] ボタンをクリックする

自動的に再起動し、次の画面が表示されます。

**10** [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押す

[ログオン情報]ダイアログボックスが表示されます。

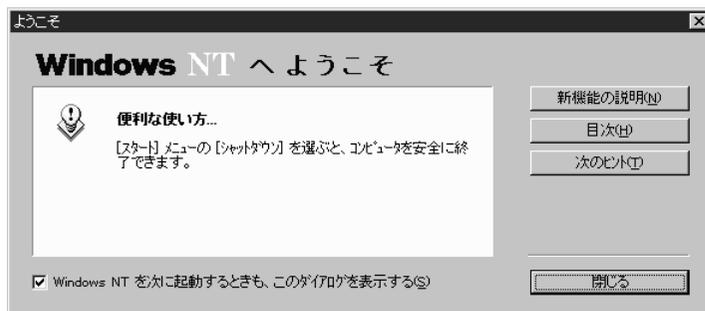
**11** [ユーザー名(U)]ボックスに「Administrator」と表示されていることを確認する

「Administrator」と表示されていない場合は、入力してください。

**12** [パスワード(P)]ボックスに何も表示されていないことを確認する  
何か表示されている場合は、削除してください。

## 13 [OK] ボタンをクリックする

[ようこそ] 画面が表示されます。



この画面の [新機能の説明(N)] [次のヒント(T)] などのボタンをクリックすることにより Windows NT の概要を知ることができます。

Windows NT をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。



お願い

- ・コントロールパネルの [日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。



メモ

- ・[ようこそ] の下部にあるチェックボックス (Windows NT を次に起動するときも、このダイアログを表示する) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows NT が起動したときは [ようこそ] は表示されません。

ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。

☞ [ようこそ] ダイアログボックスを再表示する方法 ☞ 『Windows NT のヘルプ』

- ・Windows NT モデルご購入時は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ : 約 2GB、FAT システム

ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。

また、C ドライブを NTFS ファイルシステムに変換する場合は、convert コマンドをご利用ください。

ディスクアドミニストレータ、convert コマンドの詳細は、Windows NT のヘルプをご覧ください。

- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 4 ユーザ登録をする」

## Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows NT Workstation』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして『Windows のヘルプ』をご覧ください。

## Administrator パスワードの設定 / 変更

セットアップ直後の初期状態では、Administrator のパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。

セットアップ作業から継続している方は、手順 1 と 4 は必要ありません。



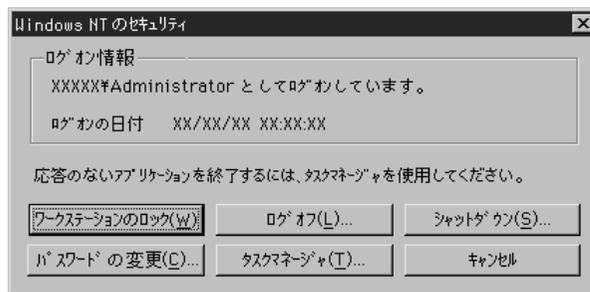
お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。  
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

### 1 Administrator でログオンする

### 2 **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押す

[ Windows NT のセキュリティ ] 画面が表示されます。



### 3 [ パスワードの変更 ( C ) ] ボタンをクリックする

[ パスワードの変更 ] 画面が表示されます。



### 4 [ 古いパスワード ( O ) ] ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する

初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。

入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

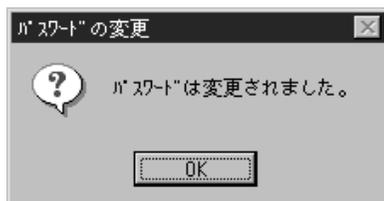
### 5 [ 新しいパスワード ( N ) ] ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する

入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

### 6 [ 新しいパスワードの確認入力 ( C ) ] ボックスに、同じパスワードを入力する

入力したパスワードは\* (アスタリスク) で表示されます。

- 7** [OK] ボタンをクリックする  
パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。



- 8** [OK] ボタンをクリックする  
[ Windows NT のセキュリティ ] 画面に戻ります。

- 9** [キャンセル] ボタンをクリックする  
新しいパスワードは、次のログオンから有効になります。

## ● システム修復ディスクの作成

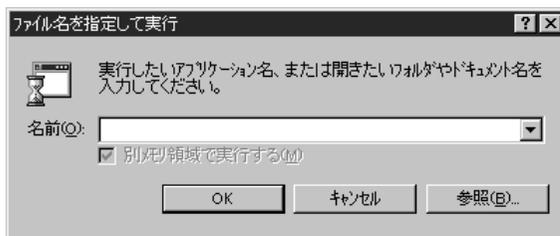
システム修復ディスクを作成しておくことで、システムファイルが破損した場合に、セットアップが完了した直後の状態にシステムを復元することができます。  
2HD 形式 / 1.44MB でフォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚ご用意ください。



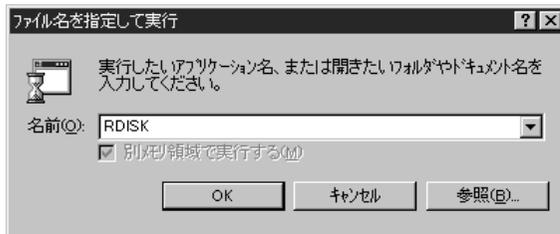
お願い

・システム修復ディスクを作成すると、フロッピーディスクに入っているデータはすべて消えてしまいます。作業の前に、フロッピーディスクに何も保存していないことをご確認ください。

- 1** [スタート] ボタンをクリックして、[ ファイル名を指定して実行 (R) ] をクリックする  
[ ファイル名を指定して実行 ] ダイアログボックスが表示されます。

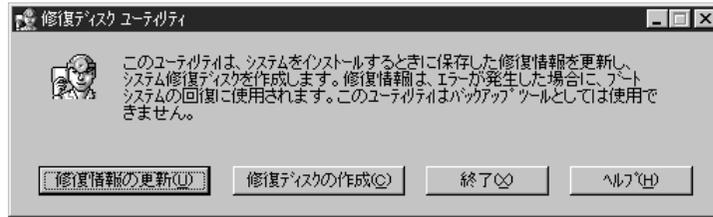


- 2** [名前(O)] ボックスに「RDISK」と入力する



**3** [OK] ボタンをクリックする

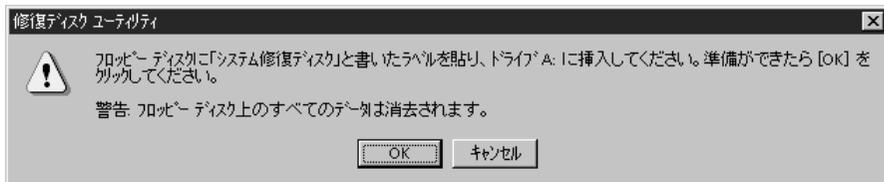
[修復ディスクユーティリティ] 画面が表示されます。



システム修復ディスクの詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプをご覧ください。

**4** [修復ディスクの作成(C)] ボタンをクリックする

次のメッセージが表示されます。

**5** 2HD 形式 / 1.44 MB フォーマットのフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットする**6** [OK] ボタンをクリックする

システム修復ディスクの作成が始まります。

システム修復ディスクの作成が終了すると、次のメッセージが表示されます。

**7** [OK] ボタンをクリックする

[修復ディスクユーティリティ] 画面に戻ります。

**8** [終了(X)] ボタンをクリックする**9** フロッピーディスク装置から、システム修復ディスクを取り出す

システム修復ディスクは、分かりやすいようにラベルなどを貼り、大切に保管してください。

☞ システム修復ディスクのについて

☞ 『システム修復ユーティリティのヘルプ』、『Windows NT のマニュアル』

## 4 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録およびマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行ってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットで登録する場合は、モデムが必要です。

### ● 東芝へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### インターネットをご利用になる場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

### ● Microsoft 社へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがきで登録できます。

また、Windows 98 / 95 の場合、インターネットでも登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

Windows 98 の場合

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[Windows へようこそ]で[今すぐ登録]をクリックする

Windows 95 の場合

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[オンライン登録]をクリックする

# 3 電源の切り方

電源を切る方法は Windows 98 / 95 と Windows NT で異なります。  
お使いのシステムを確認のうえ、次の手順に従って電源を切ってください。

## 電源切断時のお願い

**注意** ・Windows 98 / 95 をお使いの場合は、電源スイッチで電源を切らないでください。  
作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。  
なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを 5 秒以上押し続けると電源が切れます。その際、データは消失する可能性があります。

電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、5 秒以上たってから入れてください。  
5 秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。  
アプリケーションソフトが起動しているときは、データを保存し、アプリケーションを終了してください  
☞ 『各アプリケーションソフトに付属の説明書』

## 1 Windows 98 / 95 の電源の切り方

画面の表示例は、Windows 98 の画面です。Windows 95 の場合は異なります。

- 1 HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプ、CD-ROM アクセスランプが消えていることを確認する  
フロッピーディスクや CD-ROM がセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 2 [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [Windows の終了 (U)] を選択し、クリックする



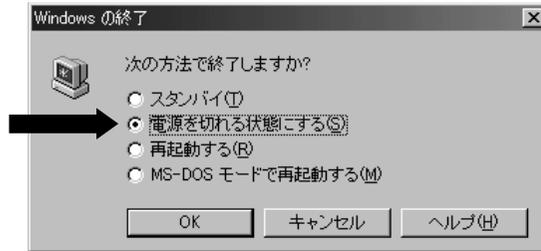
(注) 画面は一例です。



メモ

・[スタート] メニューの項目は、あらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。

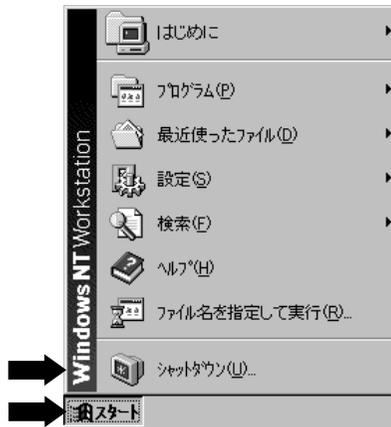
- 3** [電源を切れる状態にする(S)]または[コンピュータの電源を切れる状態にする(S)]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックする



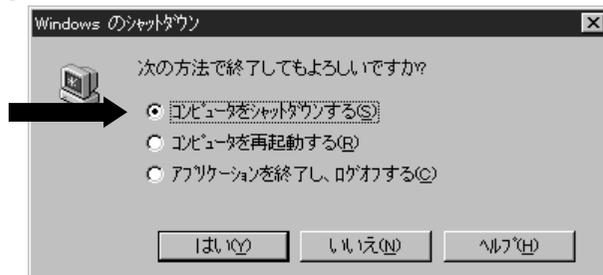
- 4** ディスプレイなどの本装置に接続している周辺機器の電源を切る

## 2 Windows NT の電源の切り方

- 1** HDD アクセスランプ、FDD アクセスランプ、CD-ROM アクセスランプが消えていることを確認する  
フロッピーディスクやCD-ROM がセットされている場合は、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 2** [スタート] ボタンをクリックし、メニューから [シャットダウン(U)] を選択し、クリックする



- 3** [Windows のシャットダウン] ダイアログボックスで [コンピュータをシャットダウンする(S)] が選択されていることを確認し、[はい(Y)] をクリックする





**注意** ・上記の方法で電源を切るには、東芝ソフトウェアパワーオフ機能（Toshiba Software Power Off 2.1）が正しくインストールされている必要があります。Windows NT モデルをお買い求めいただいた初期インストール環境および Windows NT モデルに付属のリカバリ CD で再インストールした環境では、インストール済みです。  
この方法は「Windows NT 4.0 Service Pack 5」のみ動作を保証します。

⇒ 東芝ソフトウェアパワーオフの再インストールについて

⇒ アプリケーション CD-ROM 内の『¥Drivers¥Tspoff¥readme.txt』

#### 4 ディスプレイなどの本装置に接続している周辺機器の電源を切る

# 4 省電力機能について

## 1 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスク装置、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。

省電力モード中は、次の状態になります。

- ・本体の電源ランプがスタンバイ、サスペンドのとき橙色に点灯する
- ・ディスプレイの電源表示ランプが橙色になる（ディスプレイにより異なります）
- ・ディスプレイの画面が真っ暗になる
- ・システム、アプリケーションが停止する

本装置にあらかじめインストールされている Windows 98 / 95 には、省電力機能が用意されています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本装置と Windows 98 / 95 の省電力機能について簡単に紹介します。



・Windows NT モデルには省電力機能はありません。

メモ

## 2 省電力モードについて

本装置には、次の2つの省電力モードがあります。

### スタンバイ

本装置のハードディスク装置、接続されているディスプレイなどの一部の消費電力を節約します。Windows 98 では通常モードへの復帰に多少時間がかかります（30秒程度）

### サスペンド（Windows 95 のみ）

本装置の消費電力を最小限に抑制します。通常モードへの復帰は多少時間がかかります（30秒程度）

	Windows 95スタンバイモード	Windows 95サスペンドモード Windows 98スタンバイモード
ディスプレイ装置	ディスプレイの電源がオフになります。	ディスプレイの電源がオフになります。
ハードディスク装置	BIOSセットアップの [ Power ] メニューの [ Hard Drive ] 項目に従い、モータの回転を停止します。 LANDesk Client Manager をインストールして使用するときは、[ Hard Drive ] 項目を「Disabled」に設定してください。 この設定を行わなかった場合、ハードディスク装置のモータ回転の起動 / 停止がくり返され、寿命を縮めるおそれがあります。	・Windows 95 スタンバイモードと同様に動作します。 ・Windows 98 [ 電源の管理のプロパティ ] の「ハードディスクの電源を切る」の項目に従い、モータの回転を停止します。
オプションカード	通常の動作モードです。	停止します。 （*カードによっては本装置を再起動するなどして初期化が必要になります。）
CPUファン	動作します。	停止します。
LAN接続	切断しません。	切断します。

### 3 省電力機能を作動させるには

#### Windows 98 の場合

方法	省電力モード	通常モードに戻るには
Windows 98のスタンバイ(1) スリープスイッチを押す	スタンバイモード	スリープスイッチを押すまたはマウスまたはキーボード入力する
Windows 98のスタンバイ(2) Windows 98では、ディスプレイ、ハードディスク、システム全体が省電力スタンバイになるまでの時間を設定できます。これらが設定されている場合、設定された時間内にマウスまたはキーボード入力がないときに省電力モードに移行します。 設定方法 <b>1</b> Windows 98上の[マイコンピュータ]をダブルクリックする <b>2</b> [マイコンピュータ]ウィンドウが開くので[コントロールパネル]をダブルクリックする <b>3</b> [コントロールパネル]ウィンドウが開くので[電源の管理]をダブルクリックする <b>4</b> [電源の管理のプロパティ]が開くので[電源設定]タブの[システムスタンバイ]、[モニタの電源を切る]、[ハードディスクの電源を切る]で省電力機能を設定する	スタンバイモード  ([モニタの電源を切る]、[ハードディスクの電源を切る]のみ設定された場合は、ディスプレイまたはハードディスクが省電力モードになります)	スリープスイッチを押すまたはマウスまたはキーボード入力する
Windows 98のスタンバイ(3) Windows 98のスタンバイ機能を働かせると省電力モードに移行します。 設定方法 <b>1</b> Windows 98上の[スタート]ボタンをクリックする <b>2</b> [スタート]メニューが開くので[Windowsの終了]をクリックする <b>3</b> [Windowsの終了]が開くので[スタンバイ]をクリックする	スタンバイモード	スリープスイッチを押すまたはマウスまたはキーボード入力する

## Windows 95 の場合

方法	省電力モード	通常モードに戻るには
<p>Windows 95のスタンバイ(1)            BIOSセットアップの[ Power ]メニューの            [ Inactivity Timer ]で設定された時間内にマ            ウスまたはキーボード入力がないときに省電力            モードに移行します。            設定方法 ⇒ 「5章 BIOSセットアップについて」            LANDesk Client Managerをインストールする            と[ Inactivity Timer ]での省電力モードへの移行            はできません。</p>	スタンバイモード	マウスまたはキーボード入力 する
<p>Windows 95のスタンバイ(2)            Windows 95では、ディスプレイが省電力ス            タンバイになるまでの時間を設定できます。こ            れが設定されている場合、設定された時間内に            マウスまたはキーボード入力がないときに省電            力モードに移行します。            設定方法  <b>1</b> Windows 95上の[マイコンピュータ]を            ダブルクリックする  <b>2</b> [マイコンピュータ]ウィンドウが開くので            [コントロールパネル]をダブルクリックする  <b>3</b> [コントロールパネル]ウィンドウが開くの            で [画面] をダブルクリックする  <b>4</b> [画面のプロパティ]が開くので[スクリー            ンセーバータブ]で[ディスプレイの省電力機能]            を設定する</p>	スタンバイモード  (ディスプレイのみ スタンバイモードに なります)	マウスまたはキーボード入 力する
<p>Windows 95のサスペンド(1)            スリープスイッチを押す</p>	サスペンドモード	スリープスイッチを押すまた はマウスまたはキーボード入 力する
<p>Windows 95のサスペンド(2)            Windows 95のサスペンド機能を働かせると            省電力モードに移行します。  <b>1</b> Windows 95上の[スタート]ボタンをクリ            ックする  <b>2</b> [スタートメニュー]が開くので[サスペンド]            をクリックする   ・工場出荷時のメニューには[サスペンド]            はありません。            サスペンドを表示するには [コントロー            ルパネル]の[パワーマネージメント]を開            き、[パワーマネージメント]タブの[詳細]            ボタンをクリックして、[詳細]タブの            [[スタート]メニューの[サスペンド]コマ            ンドの表示]をチェックします。            ・Windows 95のサスペンドを働かせると            LAN接続は切断され、取り付けられてい            るオプションカードの動作は停止します。</p>	サスペンドモード	スリープスイッチを押すまた はマウスまたはキーボード入 力する